

三菱電機株式会社
エネルギー計測ユニット
EcoMonitorLight/EcoMonitorPlus
形名： EMU4-BD1-MB/EMU4-HD1-MB
EMU4-BM1-MB/EMU4-HM1-MB
EMU4-LG1-MB
EMU4-A2/EMU4-VA2
EMU4-AX4/EMU4-PX4

サンプル画面説明書

サンプルのご利用について

サンプル用の画面データ、取扱説明書などのファイルは、以下の各項に同意の上でご利用いただくものとします。

- (1) 当社製品をご使用中またはご使用検討中のお客様がご利用の対象となります。
- (2) 当社が提供するファイルの知的財産権は、当社に帰属するものとします。
- (3) 当社が提供するファイルは、改竄、転載、譲渡、販売を禁止します。
但し、内容の一部または全てをお客様作成の機器やシステム内の当社製品上でご利用いただく場合は、その限りではありません。また、当社製品をご利用いただいたお客様作成の仕様書、設計書、組み込み製品の取扱説明書などへの転載、複製、引用、レイアウトの変更についてもその限りではありません。
- (4) 当社が提供するファイルやそのファイルから抽出されるデータを利用することによって生じた如何なる損害も当社は補償をいたしません。お客様の責任においてご利用ください。
- (5) 当社が提供するファイルに利用条件などが添付されている場合は、その条件にも従ってください。
- (6) 予告なしに当社が提供するファイルの削除や内容の変更を行うことがあります。
- (7) 当社が提供するファイルのご使用に際しては、対応するマニュアルおよびマニュアルで紹介している関連マニュアルをよくお読みいただくと共に、安全に対して十分に注意を払って正しい取扱いをしてください。

目次

改訂履歴	5
1. 概要	6
2. システム構成	6
3. GOT について	7
3.1 自動で選択されるシステムアプリケーション	7
3.2 作画ソフトウェアの接続機器の設定	7
3.3 作画ソフトウェアのオーバーラップウィンドウ設定	7
4. エネルギー計測ユニットについて	8
4.1 対象機種	8
4.2 エネルギー計測ユニットの通信設定	8
5. 画面仕様	9
5.1 表示言語	9
5.2 画面遷移	9
5.3 画面説明	14
5.3.1 メニュー (B-30001)	14
5.3.2 現在値モニタ (B-30002)	16
5.3.3 現在値モニタ (B-30003)	17
5.3.4 現在値モニタ_増設 (B-30004)	18
5.3.5 現在値モニタ_LG (B-30005)	19
5.3.6 現在値モニタ_AX (B-30006)	20
5.3.7 現在値モニタ_AX (B-30007)	21
5.3.8 現在値モニタ_PX (B-30008)	22
5.3.9 電力量グラフ (B-30009)	23
5.3.10 総合電流グラフ (B-30010)	25
5.3.11 パラメータ設定 (B-30020)	27
5.3.12 パラメータ設定_増設 (B-30021)	28
5.3.13 パラメータ設定_LG (B-30022)	29
5.3.14 パラメータ設定_AX (B-30023)	30
5.3.15 パラメータ設定_AX (B-30024)	31
5.3.16 パラメータ設定_PX (B-30025)	32
5.3.17 アラーム履歴 (B-30011)	33
5.3.18 アラームリセット (W-30001)	35
5.3.19 言語設定 (W-30002)	36
5.3.20 時計設定 (W-30003)	37
5.3.21 対象局&回路設定 (W-30010)	38
5.3.22 相線式 (W-30015)	40
5.3.23 センサ種別 (W-30016)	41
5.3.24 計測モード (W-30017)	42
5.3.25 レベル超過回数モニタ乗率 (W-30018)	43
5.4 使用デバイス一覧	44
5.5 コメント一覧	49
5.6 レシピ一覧	51
5.7 ログिंग一覧	52
5.8 スクリプト一覧	55
6. GOT 上での MODBUS®アドレスの指定方法について	88

6.1	アドレスの置き換え方法	88
6.2	計測ユニットの計測値をモニタ表示する例.....	88
7.	グラフ・ロギングについて.....	91
7.1	ロギング詳細	91
7.2	ロギング項目を追加する例	94
7.3	ヒストリカルトレンドグラフに表示する過去データを増やす例.....	95
7.4	追加したロギング項目をヒストリカルトレンドグラフに表示する例.....	96

改訂履歴

サンプル画面説明書

改訂日付	管理番号*	改訂内容
2015/10	BCN-P5999-0605	初版
2016/11	BCN-P5999-0605-2	EMU4-AX4/EMU4-PX4 対応

* 管理番号は、右下に記載しています。

プロジェクトデータ

改訂日付	プロジェクトデータ	GT Designer3*	改訂内容
2015/10	MITSUBISHI_EMU4_LP_V_Ver1_J. GTX	1. 134Q	初版
2016/11	MITSUBISHI_EMU4_LP_V_Ver2_J. GTX	1. 156N	EMU4-AX4/EMU4-PX4 対応

* プロジェクトデータ作成時に使用した作画ソフトウェアのバージョンです。記載したバージョンと同等、またはそれ以降のバージョンの作画ソフトウェアを使用してください。

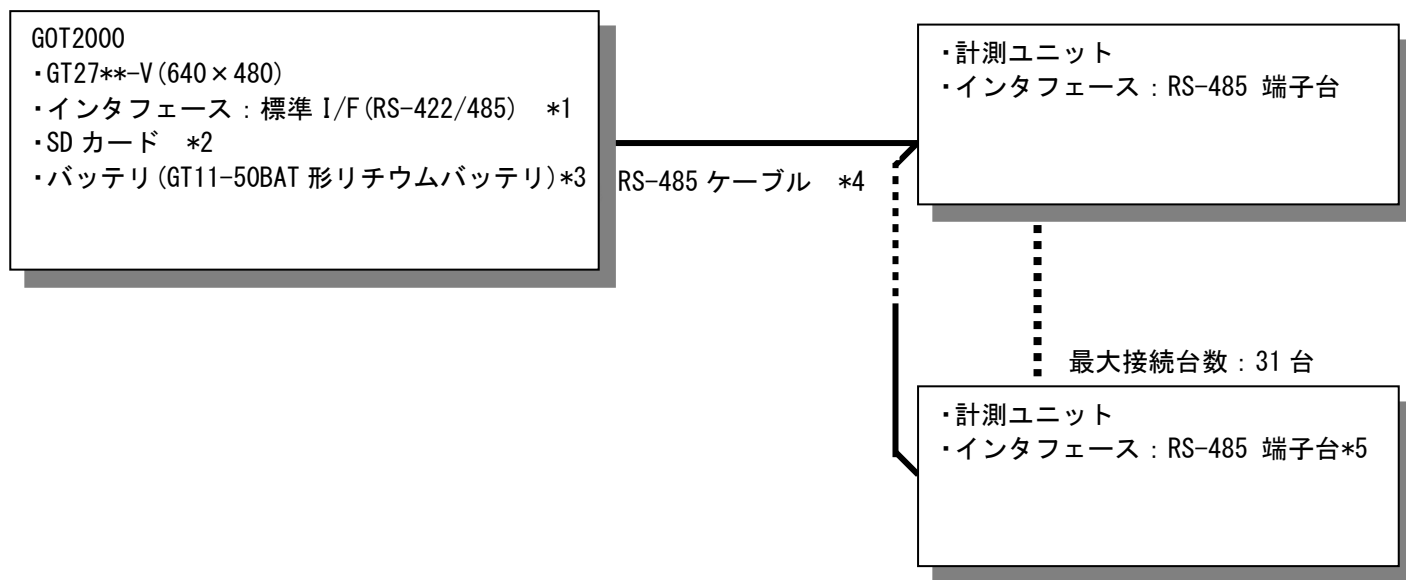
1. 概要

GOT2000 と計測端末 エネルギー計測ユニット EcoMonitorLight/EcoMonitorPlus (以下、計測ユニットと省略) を MODBUS[®]/RTU (RS-485) で接続し、電流、電力、電力量のモニタなどを行うサンプル画面の説明書です。

* EcoMonitorLight : EMU4-BD1-MB/EMU4-HD1-MB

EcoMonitorPlus : EMU4-BM1-MB/EMU4-HM1-MB/EMU4-LG1-MB/EMU4-A2/EMU4-VA2/EMU4-AX4/EMU4-PX4

2. システム構成



*1 : 終端抵抗が必要となります。終端抵抗については、「GOT2000 シリーズ接続マニュアル(マイコン・MODBUS/フィールドバス・周辺機器接続編)」を参照してください。

*2 : SD カードは、ロギング機能・拡張レシピ機能で使用しています。

*3 : バッテリーは、時計データおよび SRAM ユーザ領域のロギングデータ・ユーザアラームデータの停電保持に使用しています。(バッテリーは GOT 本体に標準装備しています。)

*4 : ケーブルの詳細については、「GOT2000 シリーズ接続マニュアル(マイコン・MODBUS/フィールドバス・周辺機器接続編)」を参照してください。

*5 : 終端抵抗が必要となります。終端抵抗については、各機器のマニュアルを参照してください。

3. GOT について

3.1 自動で選択されるシステムアプリケーション

種類	システムアプリケーションの名称		
基本機能	基本システムアプリケーション		
	標準フォント	日本語	
通信ドライバ	MODBUS/RTU		
拡張機能	標準フォント		中国語(簡体)
	アウトラインフォント	ゴシック	英数かな
			日本語漢字
			中国(簡体)漢字

3.2 作画ソフトウェアの接続機器の設定

項目	設定値	備考
ポーレート (BPS)	38400 bps	
データ長	8 bit	
ストップビット	1 bit	
パリティ	偶数	
リトライ回数 (回)	3	
通信タイムアウト時間 (秒)	3	
自局アドレス	1	接続されている計測ユニットの MODBUS® アドレスを設定します。このサンプルでは、1 局固定とします。
送信ディレイ時間 (ms)	0	
32 ビット格納順序	HL 順	
ファンクションコード「0F」	使用する	
ファンクションコード「10」	使用する	
コイル読出し点数 (点)	2000	
入力リレー読出し点数 (点)	2000	
保持レジスタ読出し点数 (点)	2	
入力レジスタ読出し点数 (点)	125	
コイル書き込み点数 (点)	800	
保持レジスタ書き込み点数 (点)	2	

3.3 作画ソフトウェアのオーバーラップウィンドウ設定

ベース画面の切り換え時にウィンドウ画面を閉じるために、[画面切り換え/ウィンドウ]のオーバーラップウィンドウの[詳細設定]で[ベース画面の切り換えと同時にウィンドウを閉じる]を有効にしています。

4. エネルギー計測ユニットについて

4.1 対象機種

シリーズ	形名	備考
EcoMonitorLight	EMU4-BD1-MB	
	EMU4-HD1-MB	
EcoMonitorPlus	EMU4-BM1-MB	
	EMU4-HM1-MB	
	EMU4-LG1-MB	電力量グラフ、総合電流グラフには対応していません。 MODBUS®アドレスを1に設定する場合は、「7 グラフ・ロギングについて」を参考に、電力量ロギングおよび総合電流ロギングを変更してください。
	EMU4-A2	
	EMU4-VA2	
	EMU4-AX4	
	EMU4-PX4	

4.2 エネルギー計測ユニットの通信設定

項目	設定値	備考
MODBUS®アドレス	1～247	1局が必ず存在するようにしてください。*1
MODBUS®ボーレート	38400 bps	
MODBUS®パリティ	Even	
ストップビット	1 bit	

*1 1局が存在しない場合、このサンプルは動作しません。

電力量グラフ、総合電流グラフ、アラーム履歴は、局番1の回路1のみ設定しています。

5. 画面仕様

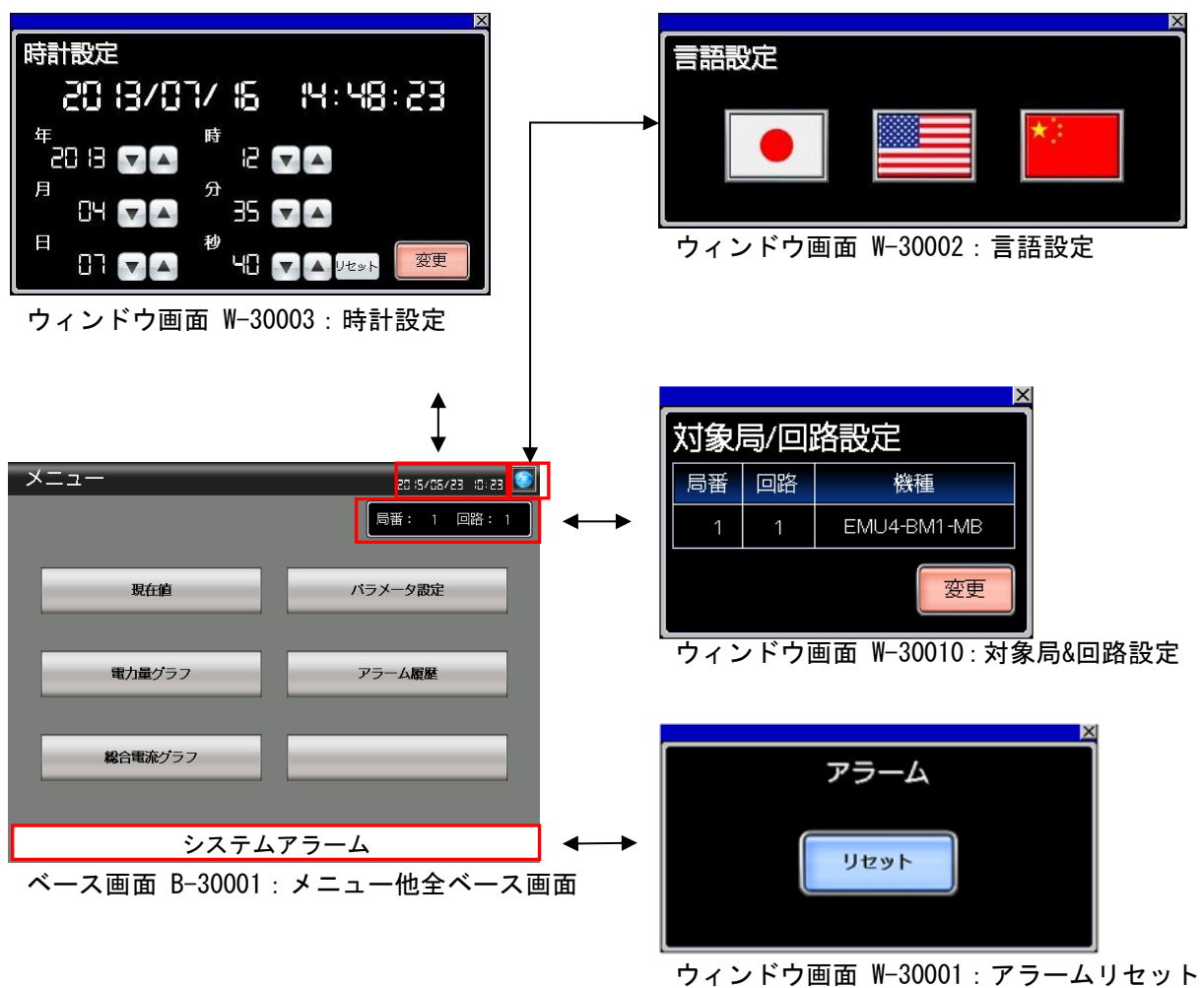
5.1 表示言語

画面上に表示する文字列は、日本語・英語・中国語(簡体)の3言語で切り換え表示できます。各言語の文字列は、コメントグループ No. 254、255 の列 No. 1~3 に以下のように登録しています。言語切り換えデバイスに列 No. を格納すると列 No. に対応した言語を表示します。

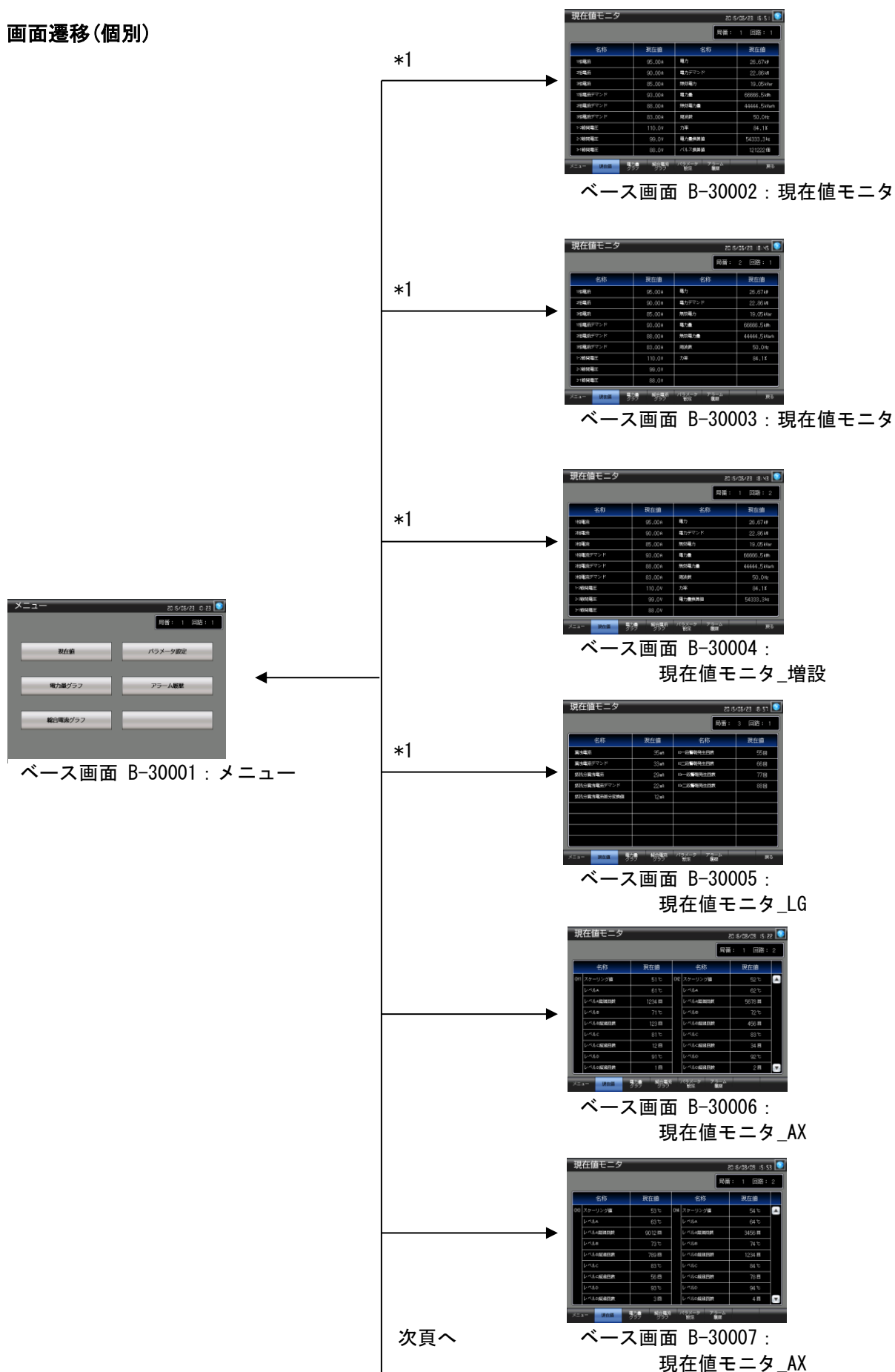
列 No.	言語
1	日本語
2	英語
3	中国語(簡体)

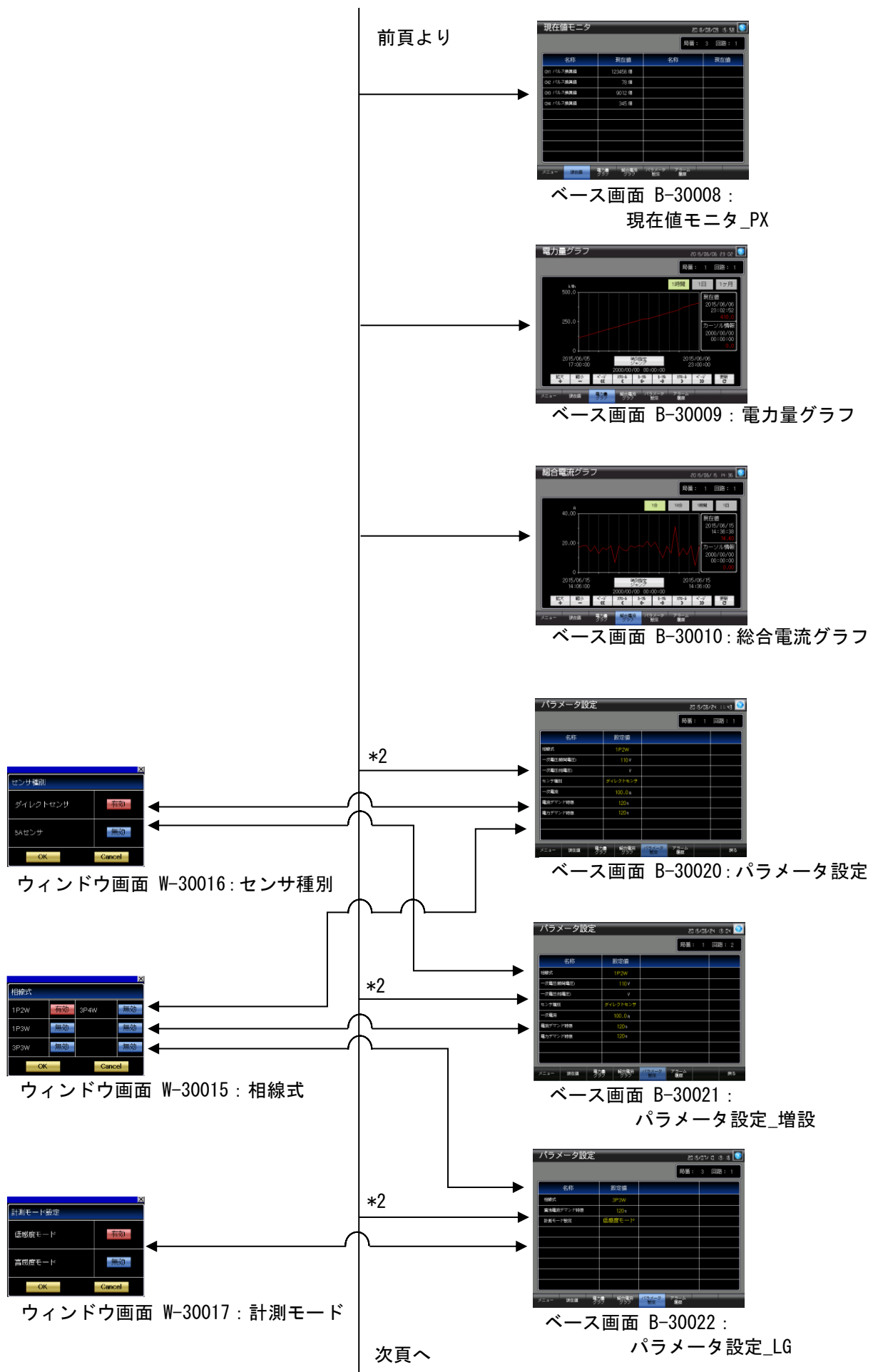
5.2 画面遷移

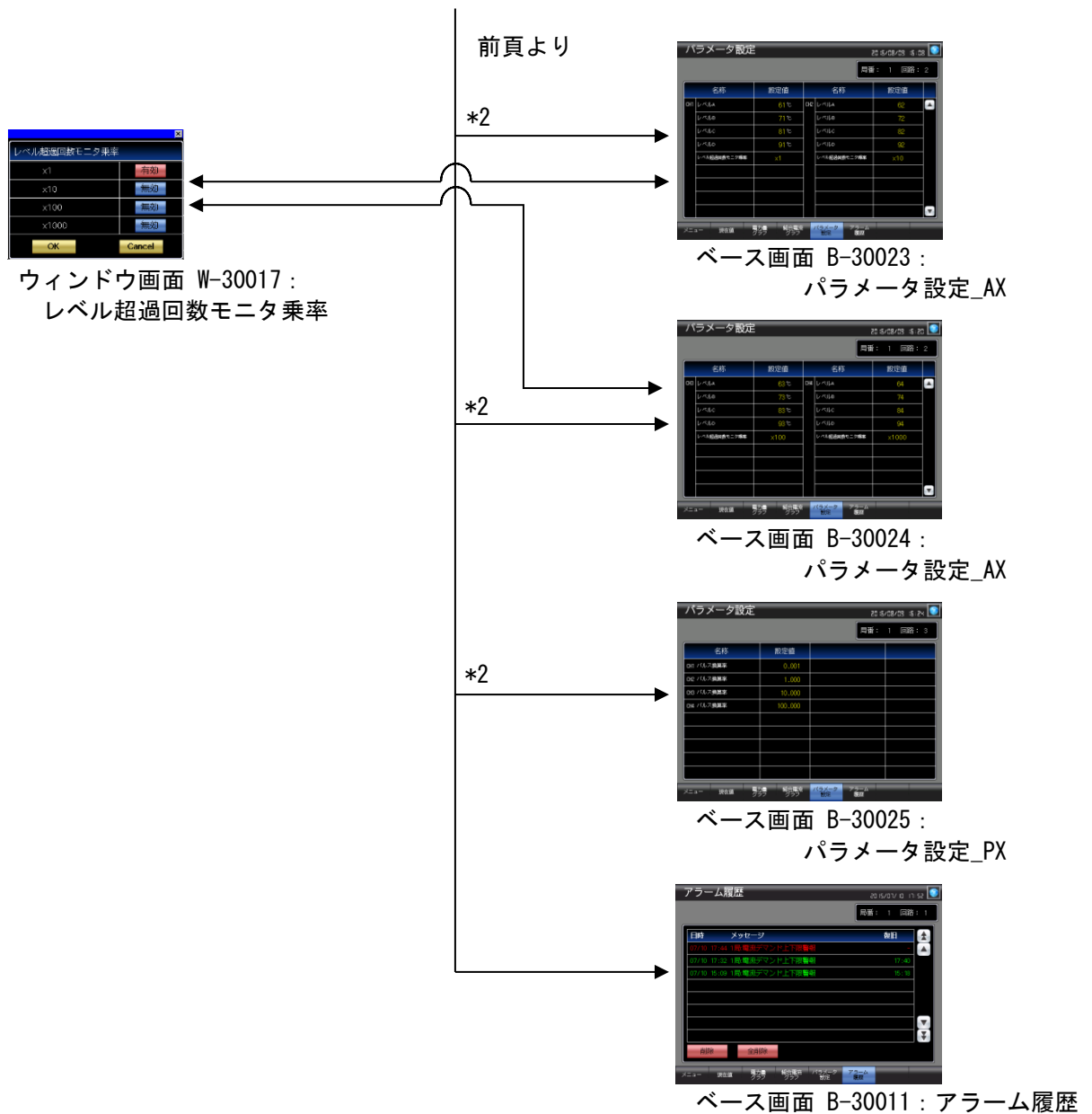
5.2.1 画面遷移(共通)



5.2.2 画面遷移(個別)







*1 : 現在モニタ中の機種により、現在値モニタ画面の切り換え先が以下のように変わります。

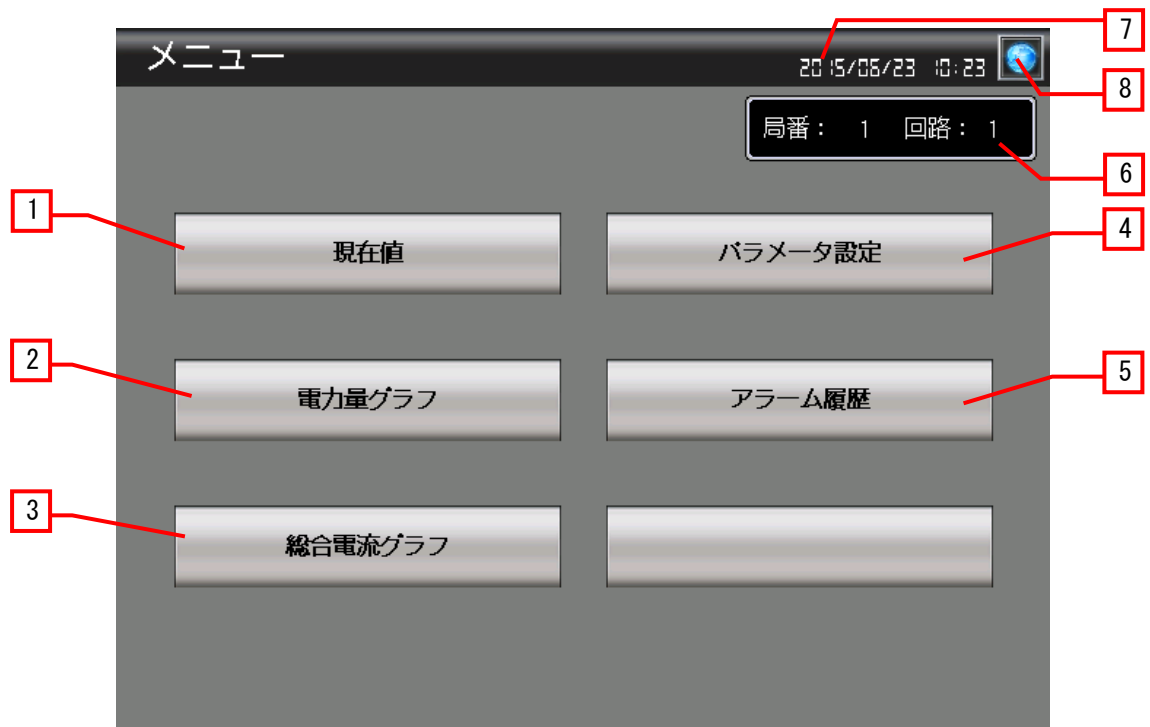
モニタ中の機種	現在値モニタ画面の切り換え先
EMU4-HM1-MB	ベース画面 B-30002 : 現在値モニタ
EMU4-BD1-MB	ベース画面 B-30003 : 現在値モニタ
EMU4-HD1-MB	
EMU4-BM1-MB	
EMU4-A2	ベース画面 B-30004 : 現在値モニタ_増設
EMU4-VA2	
EMU4-LG1-MB	ベース画面 B-30005 : 現在値モニタ_LG
EMU4-AX4	ベース画面 B-30006 : 現在値モニタ_AX
EMU4-PX4	ベース画面 B-30008 : 現在値モニタ_PX

*2：現在モニタ中の機種により、パラメータ設定画面の切り換え先が以下のように変わります。

モニタ中の機種	パラメータ設定画面の切り換え先
EMU4-BD1-MB EMU4-HD1-MB EMU4-BM1-MB EMU4-HM1-MB	ベース画面 B-30020：パラメータ設定
EMU4-A2 EMU4-VA2	ベース画面 B-30021：パラメータ設定_増設
EMU4-LG1-MB	ベース画面 B-30022：パラメータ設定_LG
EMU4-AX4	ベース画面 B-30023：パラメータ設定_AX
EMU4-PX4	ベース画面 B-30025：パラメータ設定_PX

5.3 画面説明

5.3.1 メニュー (B-30001)



概要

メニュー画面です。

詳細

1. 現在値モニタ画面に切り換えます。
2. 電力量グラフ画面に切り換えます。
3. 総合電流グラフ画面に切り換えます。
4. パラメータ設定画面に切り換えます。
5. アラーム履歴画面に切り換えます。
6. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
7. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
8. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ 現在モニタ中の機種により、現在値モニタ画面の切り換え先が以下のように変わります。

モニタ中の機種	現在値モニタ画面の切り換え先
EMU4-HM1-MB	B-30002 : 現在値モニタ
EMU4-BD1-MB EMU4-HD1-MB EMU4-BM1-MB	B-30003 : 現在値モニタ
EMU4-A2 EMU4-VA2	B-30004 : 現在値モニタ_増設
EMU4-LG1-MB	B-30005 : 現在値モニタ_LG
EMU4-AX4	B-30006 : 現在値モニタ_AX
EMU4-PX4	B-30008 : 現在値モニタ_PX

- ・ 現在モニタ中の機種により、パラメータ設定画面の切り換え先が以下のように変わります。

モニタ中の機種	パラメータ設定画面の切り換え先
EMU4-BD1-MB EMU4-HD1-MB EMU4-BM1-MB EMU4-HM1-MB	B-30020 : パラメータ設定
EMU4-A2 EMU4-VA2	B-30021 : パラメータ設定_増設
EMU4-LG1-MB	B-30022 : パラメータ設定_LG
EMU4-AX4	B-30023 : パラメータ設定_AX
EMU4-PX4	B-30025 : パラメータ設定_PX

- ・ 電力量グラフ画面・総合電流グラフ画面に切り換えた場合、局番および回路を「1」に変更します。
- ・ GOT 起動時に、プロジェクトスクリプトにて局番および回路を「1」に設定しています。スクリプトの詳細については、「5.8 スクリプト一覧」を参照してください。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.2 現在値モニタ (B-30002)



概要

機種: EMU4-HM1-MB の現在値をモニタします。現在値の小数点位置は各計測項目の乗率情報により変化します。

詳細

1. モニタしている計測値の名称を表示します。
2. 現在モニタ中の計測ユニットの現在値を表示します。
3. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
4. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
5. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
7. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ パラメータ設定画面の切り換え先は、パラメータ設定 (B-30020) になります。
- ・ 電力量グラフ画面・総合電流グラフ画面に切り換えた場合、局番および回路を「1」に変更します。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.3 現在値モニタ (B-30003)

現在値モニタ

2015/07/10 13:09

局番: 2 回路: 1

名称	現在値	名称	現在値
1相電流	95.00A	電力	26.67kW
2相電流	90.00A	電力デマンド	22.86kW
3相電流	85.00A	無効電力	19.05kvar
1相電流デマンド	93.00A	電力量	66666.5kWh
2相電流デマンド	88.00A	無効電力量	44444.5kvarh
3相電流デマンド	83.00A	周波数	50.0Hz
1-2線間電圧	110.0V	力率	84.1%
2-3線間電圧	99.0V		
3-1線間電圧	88.0V		

メニュー 現在値 電力量グラフ 総合電流グラフ パラメータ設定 アラーム履歴

概要

機種: EMU4-BD1-MB/EMU4-HD1-MB/EMU4-BM1-MB の現在値をモニタします。現在値の小数点位置は各計測項目の乗率情報により変化します。

詳細

1. モニタしている計測値の名称を表示します。
2. 現在モニタ中の計測ユニットの現在値を表示します。
3. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
4. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
5. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
7. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・パラメータ設定画面の切り換え先パラメータ設定 (B-30020) になります。
- ・電力量グラフ画面・総合電流グラフ画面に切り換えた場合、局番および回路を「1」に変更します。
- ・画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.4 現在値モニタ_増設 (B-30004)



概要

機種: EMU4-A2/EMU4-VA2 の現在値をモニタします。現在値の小数点位置は各計測項目の乗率情報により変化します。

詳細

1. モニタしている計測値の名称を表示します。
2. 現在モニタ中の計測ユニットの現在値を表示します。
3. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
4. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
5. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
7. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・パラメータ設定画面の切り換え先は、パラメータ設定_増設 (B-30021) になります。
- ・電力量グラフ画面・総合電流グラフ画面に切り換えた場合、局番および回路を「1」に変更します。
- ・画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.5 現在値モニタ_LG(B-30005)



概要

機種: EMU4-LG1-MB の現在値をモニタします。現在値の小数点位置は各計測項目の乗率情報により変化します。

詳細

1. モニタしている計測値の名称を表示します。
2. 現在モニタ中の計測ユニットの現在値を表示します。
3. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
4. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
5. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
7. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・パラメータ設定画面の切り換え先は、パラメータ設定_LG(B-30022)になります。
- ・電力量グラフ画面・総合電流グラフ画面に切り換えた場合、局番および回路を「1」に変更します。
- ・画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.6 現在値モニタ_AX(B-30006)



概要

機種: EMU4-AX4 (CH1、CH2) の現在値をモニタします。

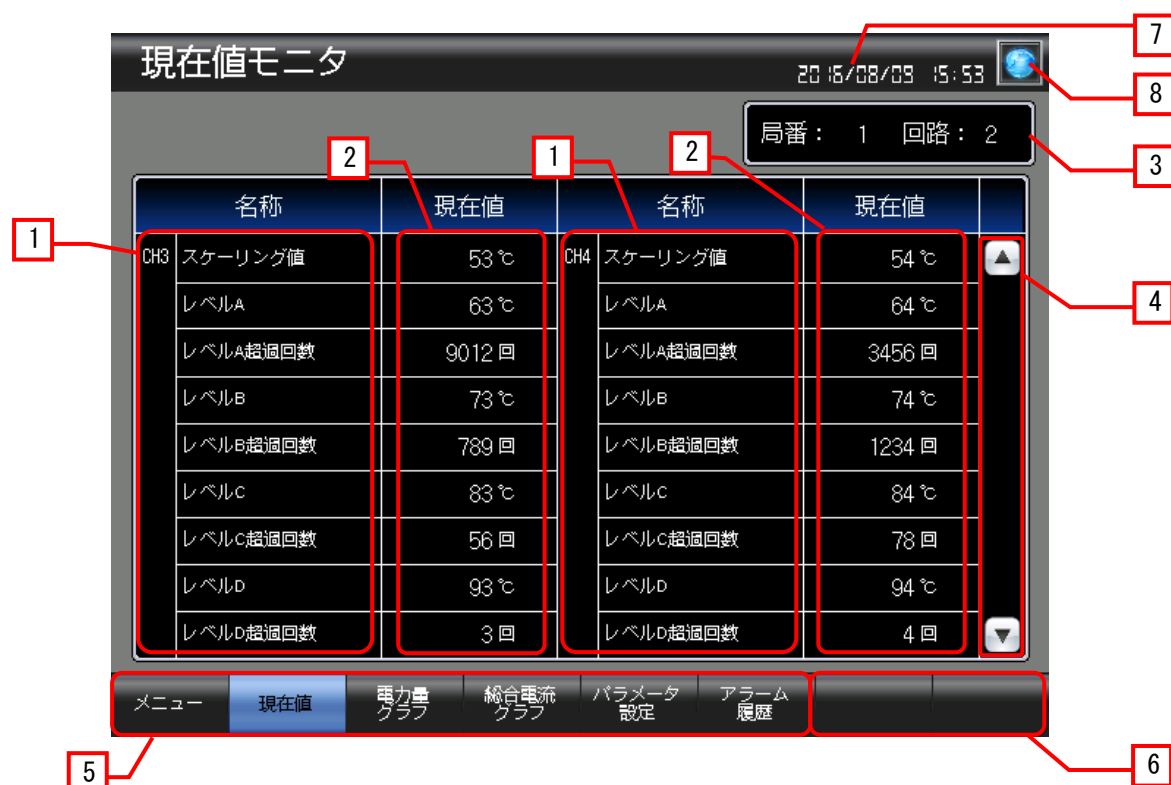
詳細

- モニタしている計測値の名称を表示します。
- 現在モニタ中の計測ユニットの現在値を表示します。
- 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
- 現在値モニタ画面を切り換えます。
▲▼ : 現在値モニタ_AX (B-30007) に切り換えます。
- 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
- 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
- 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
- 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- パラメータ設定画面の切り換え先は、パラメータ設定_AX (B-30023) になります。
- 電力量グラフ画面・総合電流グラフ画面に切り換えた場合、局番および回路を「1」に変更します。
- 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.7 現在値モニタ_AX(B-30007)



概要

機種: EMU4-AX4 (CH3、CH4) の現在値をモニタします。

詳細

1. モニタしている計測値の名称を表示します。
2. 現在モニタ中の計測ユニットの現在値を表示します。
3. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
4. 現在値モニタ画面を切り換えます。
▲▼ : 現在値モニタ_AX (B-30007) に切り換えます。
5. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
6. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
7. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
8. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ パラメータ設定画面の切り換え先は、パラメータ設定_AX (B-30024) になります。
- ・ 電力量グラフ画面・総合電流グラフ画面に切り換えた場合、局番および回路を「1」に変更します。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.8 現在値モニタ_PX(B-30008)



概要

機種: EMU4-PX4 の現在値をモニタします。

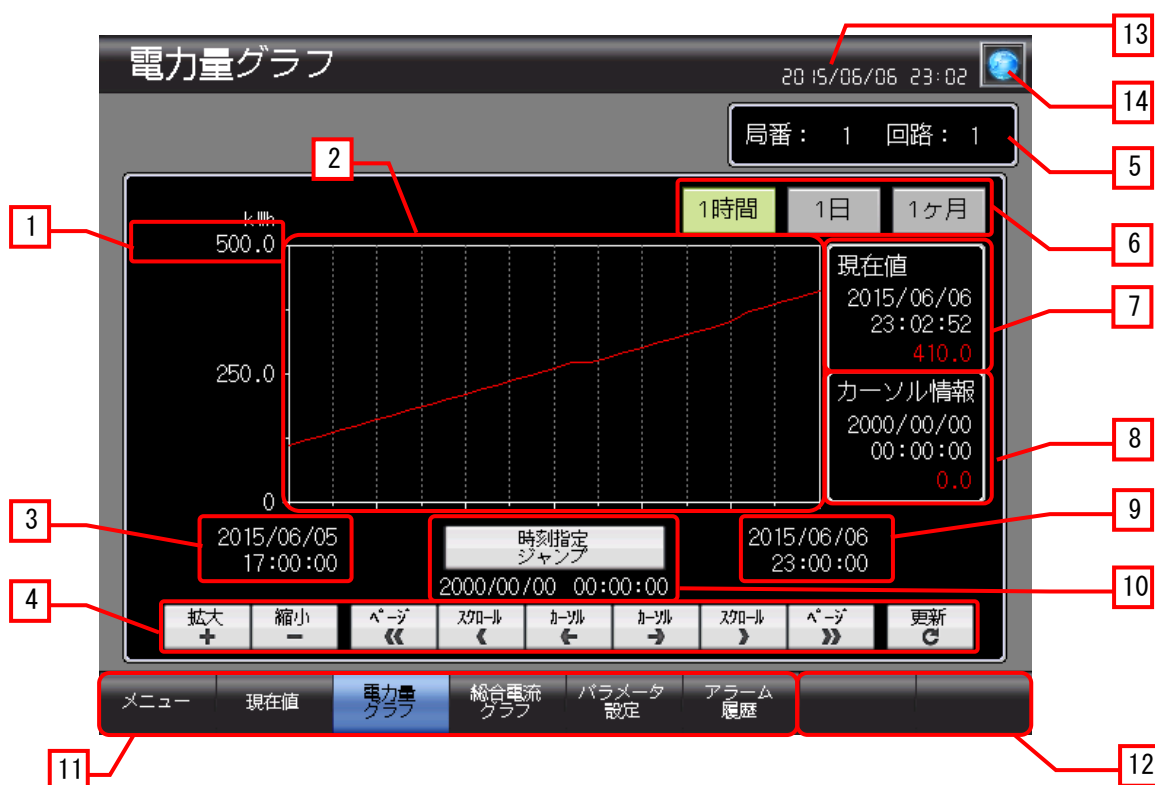
詳細

1. モニタしている計測値の名称を表示します。
2. 現在モニタ中の計測ユニットの現在値を表示します。
3. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
4. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
5. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
7. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ パラメータ設定画面の切り換え先は、パラメータ設定_PX(B-30025)になります。
- ・ 電力量グラフ画面・総合電流グラフ画面に切り換えた場合、局番および回路を「1」に変更します。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.9 電力量グラフ (B-30009)



概要

電力量の現在値を表示し、ロギング機能で収集した過去の電力量をヒストリカルトレンドグラフで表示します。

詳細

- ヒストリカルトレンドグラフの上限値を表示します。数値をタッチすることで、上限値の入力をします。入力した上限値はレシピ機能で保存され、値を保持します。
上限値の入力範囲は、計測ユニットの電力量の乗率により変化します。
- 電力量をヒストリカルトレンドグラフで表示します。グラフ上をタッチすると、カーソルを表示します。横軸のデータ数は31点です。
- ヒストリカルトレンドグラフの表示終了位置時刻を表示します。
- ヒストリカルトレンドグラフを操作します。
- 現在モニタ中の局番・回路を表示します。
- ヒストリカルトレンドグラフで表示するロギングデータを切り換えます。緑色のスイッチは、現在表示中のロギングデータです。
「1時間」：毎00分に収集した、1時間ごとのロギングデータを表示します。
「1日」：毎00時に収集した、1日ごとのロギングデータを表示します。
「1ヶ月」：毎01日に収集した、1月ごとのロギングデータを表示します。
- 電力量の現在値を表示します。小数点位置は、乗率により変化します。
- カーソル位置の日時と、電力量を表示します。電力量の小数点位置は、乗率により変化します。
- ヒストリカルトレンドグラフの表示開始位置時刻を表示します。
- 任意に指定した時刻へカーソルを移動します。
- 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
- 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
- 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
- 言語設定ウィンドウを表示します。

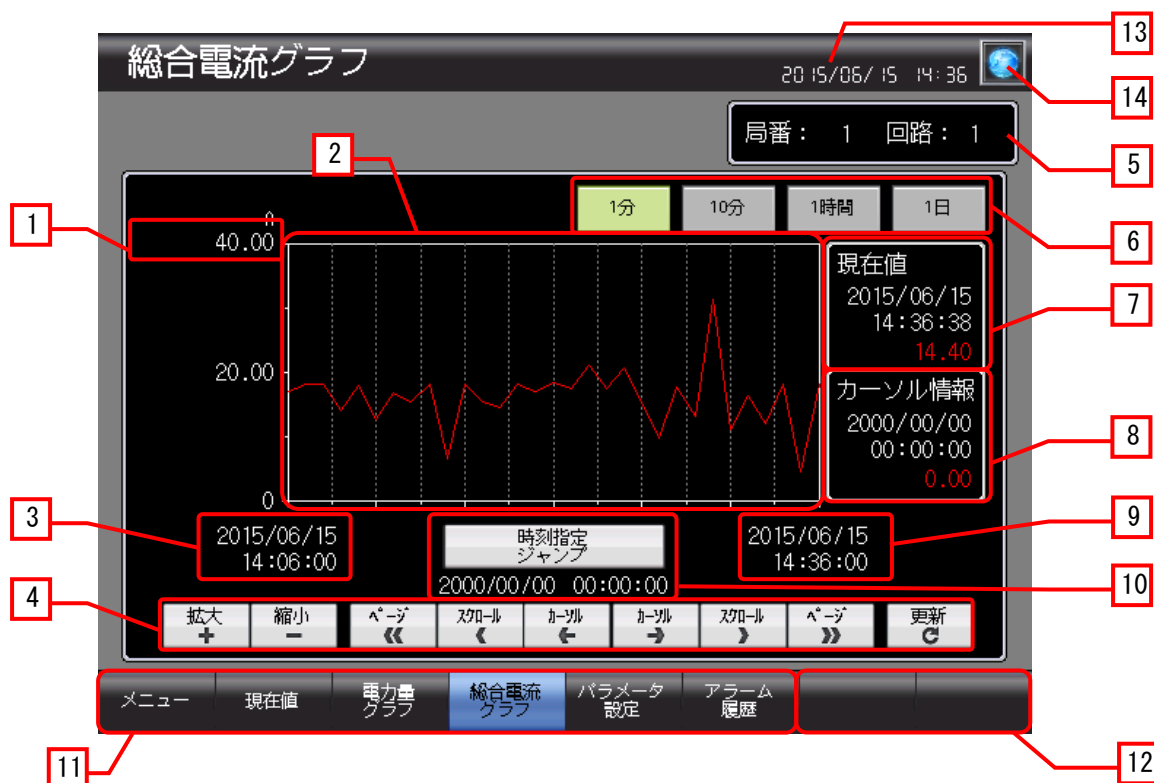
備考

- 局番 1 の機種により、現在値モニタ画面の切り換え先が以下のように変わります。

局番 1 の機種	現在値モニタ画面の切り換え先
EMU4-HM1-MB	B-30002 : 現在値モニタ
EMU4-BD1-MB EMU4-HD1-MB EMU4-BM1-MB	B-30003 : 現在値モニタ

- パラメータ設定画面の切り換え先は、パラメータ設定 (B-30020) になります。
- 局番 1 の回路 1 の計測ユニットのみロギング設定およびヒストリカルトレンドグラフの表示をしています。複数局・複数回路のロギング設定およびヒストリカルトレンドグラフの表示を行いたい場合は、「7 グラフ・ロギングについて」を参考にしてください。
- 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5. 3. 10 総合電流グラフ (B-30010)



概要

総合電流の現在値を表示し、ロギング機能で収集した過去の総合電流をヒストリカルトレンドグラフで表示します。

詳細

1. ヒストリカルトレンドグラフの上限値を表示します。数値をタッチすることで、上限値の入力をします。入力した上限値はレシピ機能で保存され、値を保持します。上限値の入力範囲は、計測ユニットの電流の乗率により変化します。
2. 総合電流をヒストリカルトレンドグラフで表示します。グラフ上をタッチすると、カーソルを表示します。横軸のデータ数は31点です。
3. ヒストリカルトレンドグラフの表示終了位置時刻を表示します。
4. ヒストリカルトレンドグラフを操作します。
5. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。
6. ヒストリカルトレンドグラフで表示するロギングデータを切り換えます。緑色のスイッチは、現在表示中のロギングデータです。
「1分」 : 毎00秒に収集した、1分ごとのロギングデータを表示します。
「10分」 : 毎*0分に収集した、10分ごとのロギングデータを表示します。
「1時間」 : 毎00分に収集した、1時間ごとのロギングデータを表示します。
「1日」 : 毎00時に収集した、1日ごとのロギングデータを表示します。
7. 総合電流の現在値を表示します。小数点位置は、乗率により変化します。
8. カーソル位置の日時と、総合電流を表示します。総合電流の小数点位置は、乗率により変化します。
9. ヒストリカルトレンドグラフの表示開始位置時刻を表示します。
10. 任意に指定した時刻へカーソルを移動します。
11. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
12. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
13. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
14. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- 局番 1 の機種により、現在値モニタ画面の切り換え先が以下のように変わります。

局番 1 の機種	現在値モニタ画面の切り換え先
EMU4-HM1-MB	B-30002 : 現在値モニタ
EMU4-BD1-MB EMU4-HD1-MB EMU4-BM1-MB	B-30003 : 現在値モニタ

- パラメータ設定画面の切り換え先は、パラメータ設定 (B-30020) になります。
- 局番 1 の回路 1 の計測ユニットのみロギング設定およびヒストリカルトレンドグラフの表示をしています。複数局・複数回路のロギング設定およびヒストリカルトレンドグラフの表示を行いたい場合は、「7 グラフ・ロギングについて」を参考にしてください。
- 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5. 3. 11 パラメータ設定 (B-30020)



概要

機種: EMU4-BD1-MB/EMU4-HD1-MB/EMU4-BM1-MB/EMU4-HM1-MB のパラメータを設定します。

詳細

1. 設定項目の名称を表示します。
2. 設定項目の設定値を表示します。設定値をタッチすると、各パラメータを設定するための、ウィンドウを表示するか、もしくは数値入力するためのキーウィンドウを表示します。
3. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
4. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
5. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
7. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ 設定を変更すると、変更中に通信エラーが発生する場合があります。
- ・ 一次電圧 (線間電圧)、一次電圧 (相電圧) は、相線式の設定により以下ようになります。
相線式設定 3P4W 以外 : 一次電圧 (相電圧) の表示および設定ができません。一次電圧 (線間電圧) を設定してください。
相線式設定 3P4W : 一次電圧 (線間電圧) の表示および設定ができません。一次電圧 (相電圧) を設定してください。
- ・ 現在モニタ中の機種により、現在値モニタ画面の切り換え先が以下のように変わります。

モニタ中の機種	現在値モニタ画面の切り換え先
EMU4-HM1-MB	B-30002 : 現在値モニタ
EMU4-BD1-MB EMU4-HD1-MB EMU4-BM1-MB	B-30003 : 現在値モニタ

- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5. 3. 12 パラメータ設定_増設 (B-30021)



概要

機種: EMU4-A2/EMU4-VA2 のパラメータを設定します。

詳細

1. 設定項目の名称を表示します。
2. 設定項目の設定値を表示します。設定値をタッチすると、各パラメータを設定するための、ウィンドウを表示するか、もしくは数値入力するためのキーウィンドウを表示します。
3. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
4. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
5. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
7. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ 設定を変更すると、変更中に通信エラーが発生する場合があります。
- ・ 一次電圧(線間電圧)、一次電圧(相電圧)は、相線式の設定により以下のようになります。
 相線式設定 3P4W 以外 : 一次電圧(相電圧)の表示ができません。一次電圧(線間電圧)を設定してください。一次電圧(相電圧)を設定した場合エラーが発生します。
 相線式設定 3P4W : 一次電圧(線間電圧)の表示ができません。一次電圧(相電圧)を設定してください。
- ・ 現在値モニタ画面の切り換え先は、現在値モニタ_増設 (B-30004) になります。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5. 3. 13 パラメータ設定_LG (B-30022)



概要

機種: EMU4-LG1-MB のパラメータを設定します。

詳細

1. 設定項目の名称を表示します。
2. 設定項目の設定値を表示します。設定値をタッチすると、各パラメータを設定するための、ウィンドウを表示するか、もしくは数値入力するためのキーウィンドウを表示します。
3. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
4. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
5. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
7. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ 設定を変更すると、変更中に通信エラーが発生する場合があります。
- ・ 現在値モニタ画面の切り換え先は、現在値モニタ_LG (B-30005) になります。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5. 3. 14 パラメータ設定_AX (B-30023)



概要

機種: EMU4-AX4 (CH1、2) のパラメータを設定します。

詳細

- 設定項目の名称を表示します。
- 設定項目の設定値を表示します。設定値をタッチすると、各パラメータを設定するための、ウィンドウを表示するか、もしくは数値入力するためのキーウィンドウを表示します。
- 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
- パラメータ設定画面を切り換えます。
▲ ▼ : パラメータ設定_AX (B-30024) に切り換えます。
- 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
- 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
- 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
- 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- 設定を変更すると、変更中に通信エラーが発生する場合があります。
- レベル A～D の設定範囲は、EMU4-AX4 に設定したスケーリング下限値～スケーリング上限値になります。
- 現在値モニタ画面の切り換え先は、現在値モニタ_AX (B-30006) になります。
- 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.15 パラメータ設定_AX (B-30024)



概要

機種: EMU4-AX4 (CH3、4) のパラメータを設定します。

詳細

1. 設定項目の名称を表示します。
2. 設定項目の設定値を表示します。設定値をタッチすると、各パラメータを設定するための、ウィンドウを表示するか、もしくは数値入力するためのキーウィンドウを表示します。
3. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
4. パラメータ設定画面を切り換えます。
▲ ▼ : パラメータ設定_AX (B-30023) に切り換えます。
5. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
6. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
7. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
8. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ 設定を変更すると、変更中に通信エラーが発生する場合があります。
- ・ レベル A～D の設定範囲は、EMU4-AX4 に設定したスケーリング下限値～スケーリング上限値になります。
- ・ 現在値モニタ画面の切り換え先は、現在値モニタ_AX (B-30007) になります。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5. 3. 16 パラメータ設定_PX (B-30025)



概要

機種: EMU4-PX4 のパラメータを設定します。

詳細

1. 設定項目の名称を表示します。
2. 設定項目の設定値を表示します。設定値をタッチすると、各パラメータを数値入力するためのキーウィンドウを表示します。
3. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
4. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
5. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
7. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ 設定を変更すると、変更中に通信エラーが発生する場合があります。
- ・ 現在値モニタ画面の切り換え先は、現在値モニタ_PX (B-30008) になります。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。



5. 3. 17 アラーム履歴 (B-30011)



概要

計測ユニットの警報情報を表示します。

詳細

1. アラーム表示 (ユーザ) でアラームを表示します。タッチでカーソルを表示/非表示します。アラーム表示上をタッチした状態で上下にフリックするとアラームを上下にスクロール表示します。
2. アラームを操作します。
 削除 : 選択された復旧済みアラームを削除します。
 全削除 : 復旧済みアラームをすべて削除します。
 : 上下にページスクロールします。
 : 上下に1行ずつスクロールします。
3. 現在モニタ中の局番・回路を表示します。タッチすると、対象局&回路設定ウィンドウを表示します。
4. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
5. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
7. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- 現在モニタ中の機種により、現在値モニタ画面の切り換え先が以下のように変わります。

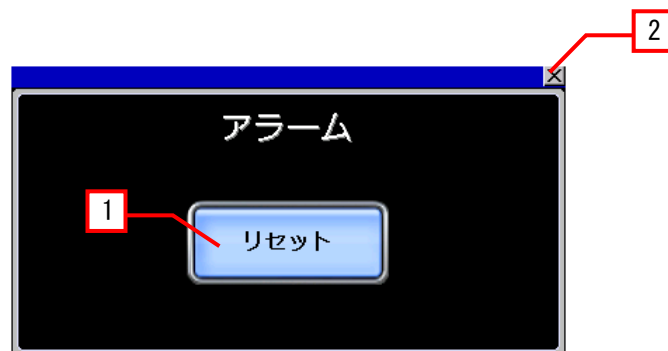
モニタ中の機種	現在値モニタ画面の切り換え先
EMU4-HM1-MB	B-30002 : 現在値モニタ
EMU4-BD1-MB EMU4-HD1-MB EMU4-BM1-MB	B-30003 : 現在値モニタ
EMU4-A2 EMU4-VA2	B-30004 : 現在値モニタ_増設
EMU4-LG1-MB	B-30005 : 現在値モニタ_LG
EMU4-AX4	B-30006 : 現在値モニタ_AX
EMU4-PX4	B-30008 : 現在値モニタ_PX

- 現在モニタ中の機種により、パラメータ設定画面の切り換え先が以下のように変わります。

モニタ中の機種	パラメータ設定画面の切り換え先
EMU4-BD1-MB EMU4-HD1-MB EMU4-BM1-MB EMU4-HM1-MB	B-30020 : パラメータ設定
EMU4-A2 EMU4-VA2	B-30021 : パラメータ設定_増設
EMU4-LG1-MB	B-30022 : パラメータ設定_LG
EMU4-AX4	B-30023 : パラメータ設定_AX
EMU4-PX4	B-30025 : パラメータ設定_PX

- 局番 1 の回路 1 の計測ユニットのみアラーム履歴の表示をしています。
- 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.18 アラームリセット (W-30001)



概要

システムアラームをリセットします。

詳細

1. システムアラームをリセットし、1 秒後にウィンドウ画面を閉じます。
2. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

5. 3. 19 言語設定 (W-30002)



概要

GOT で表示する言語を選択します。

詳細

1. 言語を切り換え、ウィンドウ画面を閉じます。
2. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

- ・ 表示言語にあわせてシステム言語も切り換える設定をしています。

5. 3. 20 時計設定 (W-30003)



概要

GOT の時計データを変更します。

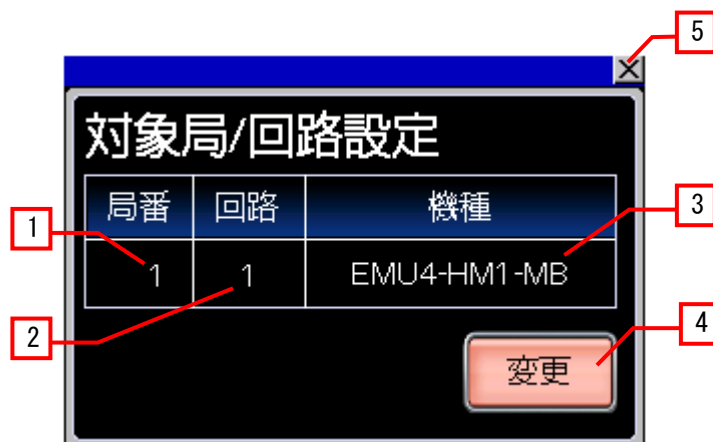
詳細

1. 現在の日時を表示します。
2. 変更したい日時を スイッチで設定します。 スイッチは、長押しすると連続で増減します。リセットスイッチは、秒をリセットします。
3. 設定した日時を GOT の時計データに反映し、1 秒後にウィンドウ画面を閉じます。
4. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

- ・ 変更する日時の初期値は、ウィンドウ画面を表示した時の日時です。
- ・ 変更する日時の年・月・日・時・分・秒の数値表示にオブジェクトスクリプトを設定しています。スクリプトの詳細については、「5.8 スクリプト一覧」を参照してください。

5. 3. 21 対象局&回路設定 (W-30010)



概要

通信先の計測ユニットの局番および回路を変更します。

詳細

1. モニタ対象計測ユニットの局番を表示します。局番(数値)をタッチすることで、局番の入力をします。
2. モニタ対象計測ユニットの回路を表示します。モニタ対象計測ユニットの基本ユニット(回路 1)が増設可能機種の際は回路(数値)をタッチすることで、回路の入力をします。
3. モニタ対象計測ユニットの機種名を表示します。
4. 設定した局番・回路を反映し、1 秒後にウィンドウ画面を閉じます。
5. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

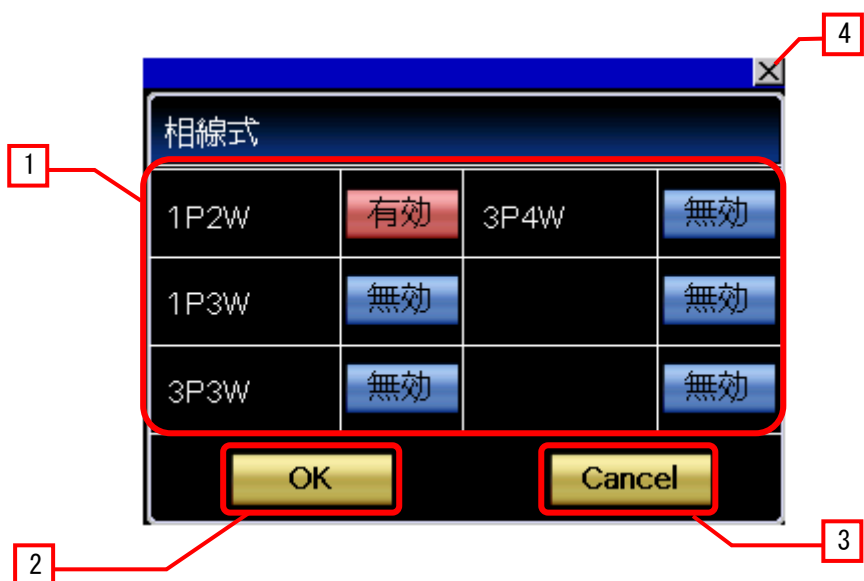
- ・ 局番もしくは回路を変更した際に対象の計測ユニットが無い場合は、通信エラーが発生し、機種が表示はブランクになります。
- ・ 現在値モニタ画面・パラメータ設定画面にて局番・回路を変更する際に、通信エラーが発生する場合があります。
- ・ 局番・回路変更後、機種が反映される前に変更を行うと正しい画面推移がされません。機種が反映されてから変更を行ってください。
- ・ 現在値モニタ画面にて局番・回路を変更した場合は、現在値モニタ画面が以下のように変わります。

機種	現在値モニタ画面
EMU4-HM1-MB	B-30002 : 現在値モニタ
EMU4-BD1-MB EMU4-HD1-MB EMU4-BM1-MB	B-30003 : 現在値モニタ
EMU4-A2 EMU4-VA2	B-30004 : 現在値モニタ_増設
EMU4-LG1-MB	B-30005 : 現在値モニタ_LG
EMU4-AX4	B-30006 : 現在値モニタ_AX
EMU4-PX4	B-30008 : 現在値モニタ_PX

- ・ パラメータ設定画面にて局番・回路を変更した場合は、パラメータ設定画面が以下のように変わります。

機種	パラメータ設定画面
EMU4-BD1-MB EMU4-HD1-MB EMU4-BM1-MB EMU4-HM1-MB	B-30020 : パラメータ設定
EMU4-A2 EMU4-VA2	B-30021 : パラメータ設定_増設
EMU4-LG1-MB	B-30022 : パラメータ設定_LG
EMU4-AX4	B-30023 : パラメータ設定_AX
EMU4-PX4	B-30025 : パラメータ設定_PX

5. 3. 22 相線式 (W-30015)



概要

相線式を設定します。

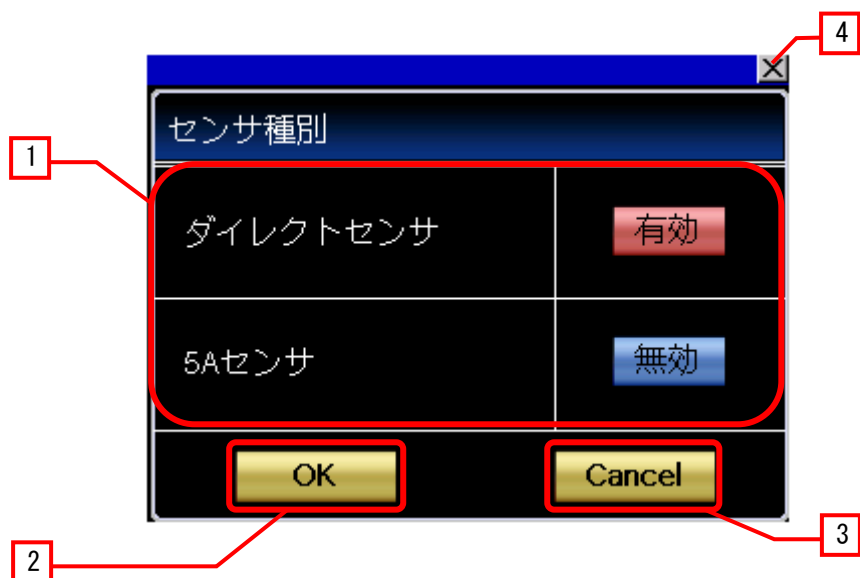
詳細

1. 設定する相線式を選択します。
2. 選択した設定を計測ユニットに書込みます。
3. 設定した値を破棄し、ウィンドウを閉じます。
4. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

- ・ 設定を変更すると、変更中に通信エラーが発生する場合があります。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5. 3. 23 センサ種別 (W-30016)



概要

センサ種別を設定します。

詳細

1. 設定するセンサ種別を選択します。
2. 選択した設定を計測ユニットに書込みます。
3. 設定した値を破棄し、ウィンドウを閉じます。
4. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

- ・ 設定を変更すると、変更中に通信エラーが発生する場合があります。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5. 3. 24 計測モード(W-30017)



概要

計測モードを設定します。

詳細

1. 設定する計測モードを選択します。
2. 選択した設定を計測ユニットに書込みます。
3. 設定した値を破棄し、ウィンドウを閉じます。
4. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

- ・ 設定を変更すると、変更中に通信エラーが発生する場合があります。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5. 3. 25 レベル超過回数モニタ乗率 (W-30018)



概要

レベル超過回数モニタ乗率を設定します。

詳細

1. 設定する乗率を選択します。
2. 選択した設定を計測ユニットに書込みます。
3. 設定した値を破棄し、ウィンドウを閉じます。
4. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

- ・ 設定を変更すると、変更中に通信エラーが発生する場合があります。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.4 使用デバイス一覧

画面上のスイッチやランプなどに設定されている一部のデバイスは、スクリプトなどの共通設定にも設定されている場合があります。これらのデバイスを一括で変更する場合には[一括変更]の使用を推奨します。[一括変更]の詳細については、「GT Designer3 (GOT2000) 画面設計マニュアル」を参照してください。

5.4.1 接続機器のデバイス

タイプ	デバイス番号	用途
ビット	1-1 400525. b0	パルスカウント値上限警報
	1-1 400525. b2	電流デマンド上下限警報
	1-1 400525. b3	電力デマンド上下限警報
	1-1 400525. b6	電流不平衡率上限警報
	1-1 400525. b7	電圧不平衡率上限警報
	1-1 400525. b8	電圧上下限警報
	1-1 400525. b9	漏洩電流一段警報
	1-1 400525. b10	漏洩電流二段警報
	1-1 400525. b11	抵抗分漏洩電流一段警報
	1-1 400525. b12	抵抗分漏洩電流二段警報
	1-1 400525. b13	力率上下限警報
	1-248 400513. b2	相線式 3P4W 判別用
ワード	1-1 400755	電流 乗率
	1-1 400758	電力量 乗率
	1-1 400764	機種コード
	1-1 400773	電流現在値(平均)
	1-1 401305	受電側積算電力量
	1-248 400513	相線式
	1-248 400514	一次電圧(線間電圧)
	1-248 400516	一次電圧(相電圧)
	1-248 400520	一次電流
	1-248 400522	電力デマンド時限
	1-248 400523	電流デマンド時限
	1-248 400526	漏洩電流デマンド時限
	1-248 400532	5A 入力切換(センサ種別)
	1-248 400738	パルス換算値単位
	1-248 400739	パルス換算値
	1-248 400741	電力量換算単位
	1-248 400755	電流 乗率
	1-248 400756	電圧 乗率
	1-248 400757	電力 乗率
	1-248 400758	電力量 乗率
	1-248 400764	機種コード
	1-248 400769	1 相電流現在値
	1-248 400770	2 相電流現在値
	1-248 400771	3 相電流現在値
	1-248 400773	電流現在値(平均)
	1-248 400774	1 相電流デマンド現在値
	1-248 400775	2 相電流デマンド現在値
	1-248 400776	3 相電流デマンド現在値
	1-248 400779	1-2 線間電圧現在値
	1-248 400780	2-3 線間電圧現在値
	1-248 400781	3-1 線間電圧現在値
	1-248 400790	総合力率現在値
	1-248 400791	周波数現在値
	1-248 400795	総合電力現在値

タイプ	デバイス番号	用途
ワード	1-248 400799	総合電力デマンド現在値
	1-248 400803	総合無効電力現在値
	1-248 400810	漏洩電流現在値
	1-248 400811	漏洩電流デマンド現在値
	1-248 400933	抵抗分漏洩電流現在値
	1-248 400934	抵抗分漏洩電流デマンド現在値
	1-248 400935	抵抗分漏洩電流差分変換値
	1-248 400939	I0 一段警報発生回数
	1-248 400941	I0 二段警報発生回数
	1-248 400943	I0r 一段警報発生回数
	1-248 400945	I0r 二段警報発生回数
	1-248 401057	計測モード設定
	1-248 401305	受電側積算電力量
	1-248 401309	受電側無効電力量(遅れ)
	1-248 401477	電力量換算値
	1-248 401483	パルス換算値
	1-248 432769	回路 2 機種コード
	1-248 432772	回路 2 電流 乗率
	1-248 432773	回路 2 電圧 乗率
	1-248 432774	回路 2 電力 乗率
	1-248 432775	回路 2 電力量 乗率
	1-248 432781	回路 2 相線式
	1-248 432782	回路 2 一次電圧(線間電圧)
	1-248 432784	回路 2 一次電圧(相電圧)
	1-248 432788	回路 2 5A 入力切換(センサ種別)
	1-248 432791	回路 2 一次電流
	1-248 432797	回路 2 電力デマンド時限
	1-248 432798	回路 2 電流デマンド時限
	1-248 432811	回路 2 パルス換算値単位(CH1)
	1-248 432812	回路 2 パルス換算率(CH1)
	1-248 432814	回路 2 電力量換算単位
	1-248 432861	回路 2 スケーリング下限値(CH1)
	1-248 432862	回路 2 スケーリング上限値(CH1)
	1-248 432863	回路 2 スケーリング値単位(CH1)
	1-248 432867	回路 2 スケーリング下限値(CH2)
	1-248 432868	回路 2 スケーリング上限値(CH2)
	1-248 432869	回路 2 スケーリング値単位(CH2)
	1-248 432873	回路 2 スケーリング下限値(CH3)
	1-248 432874	回路 2 スケーリング上限値(CH3)
	1-248 432875	回路 2 スケーリング値単位(CH3)
	1-248 432879	回路 2 スケーリング下限値(CH4)
	1-248 432880	回路 2 スケーリング上限値(CH4)
	1-248 432881	回路 2 スケーリング値単位(CH4)
	1-248 432898	回路 2 レベル A 設定(CH1)
	1-248 432899	回路 2 レベル B 設定(CH1)
	1-248 432900	回路 2 レベル C 設定(CH1)
	1-248 432901	回路 2 レベル D 設定(CH1)
	1-248 432902	回路 2 レベル A 設定(CH2)
	1-248 432903	回路 2 レベル B 設定(CH2)
	1-248 432904	回路 2 レベル C 設定(CH2)
	1-248 432905	回路 2 レベル D 設定(CH2)
	1-248 432906	回路 2 レベル A 設定(CH3)
	1-248 432907	回路 2 レベル B 設定(CH3)

タイプ	デバイス番号	用途
ワード	1-248 432908	回路 2 レベル C 設定 (CH3)
	1-248 432909	回路 2 レベル D 設定 (CH3)
	1-248 432910	回路 2 レベル A 設定 (CH4)
	1-248 432911	回路 2 レベル B 設定 (CH4)
	1-248 432912	回路 2 レベル C 設定 (CH4)
	1-248 432913	回路 2 レベル D 設定 (CH4)
	1-248 432914	回路 2 レベル超過回数モニタ乗率 (CH1)
	1-248 432915	回路 2 レベル超過回数モニタ乗率 (CH2)
	1-248 432916	回路 2 レベル超過回数モニタ乗率 (CH3)
	1-248 432917	回路 2 レベル超過回数モニタ乗率 (CH4)
	1-248 432929	回路 2 パルス換算値単位 (CH2)
	1-248 432930	回路 2 パルス換算率 (CH2)
	1-248 432932	回路 2 パルス換算値単位 (CH3)
	1-248 432933	回路 2 パルス換算率 (CH3)
	1-248 432935	回路 2 パルス換算値単位 (CH4)
	1-248 432936	回路 2 パルス換算率 (CH4)
	1-248 433025	回路 2 1 相電流現在値
	1-248 433026	回路 2 2 相電流現在値
	1-248 433027	回路 2 3 相電流現在値
	1-248 433030	回路 2 1 相電流デマンド現在値
	1-248 433031	回路 2 2 相電流デマンド現在値
	1-248 433032	回路 2 3 相電流デマンド現在値
	1-248 433035	回路 2 1-2 線間電圧現在値
	1-248 433036	回路 2 2-3 線間電圧現在値
	1-248 433037	回路 2 3-1 線間電圧現在値
	1-248 433046	回路 2 総合力率現在値
	1-248 433047	回路 2 周波数現在値
	1-248 433051	回路 2 総合電力現在値
	1-248 433055	回路 2 総合電力デマンド現在値
	1-248 433059	回路 2 総合無効電力現在値
	1-248 433176	回路 2 スケーリング値 (CH1)
	1-248 433177	回路 2 スケーリング値 (CH2)
	1-248 433178	回路 2 スケーリング値 (CH3)
	1-248 433179	回路 2 スケーリング値 (CH4)
	1-248 433305	回路 2 受電側積算電力量
	1-248 433309	回路 2 受電側無効電力量 (遅れ)
	1-248 433367	回路 2 電力量換算値
	1-248 433373	回路 2 パルス換算値 (CH1)
	1-248 433377	回路 2 パルス換算値 (CH2)
	1-248 433381	回路 2 パルス換算値 (CH3)
	1-248 433385	回路 2 パルス換算値 (CH4)
	1-248 433389	回路 2 レベル A 超過回数 (CH1)
	1-248 433391	回路 2 レベル B 超過回数 (CH1)
	1-248 433393	回路 2 レベル C 超過回数 (CH1)
	1-248 433395	回路 2 レベル D 超過回数 (CH1)
	1-248 433397	回路 2 レベル A 超過回数 (CH2)
	1-248 433399	回路 2 レベル B 超過回数 (CH2)
	1-248 433401	回路 2 レベル C 超過回数 (CH2)
	1-248 433403	回路 2 レベル D 超過回数 (CH2)
	1-248 433405	回路 2 レベル A 超過回数 (CH3)
	1-248 433407	回路 2 レベル B 超過回数 (CH3)
	1-248 433409	回路 2 レベル C 超過回数 (CH3)
	1-248 433411	回路 2 レベル D 超過回数 (CH3)

タイプ	デバイス番号	用途
ワード	1-248 433413	回路 2 レベル A 超過回数 (CH4)
	1-248 433415	回路 2 レベル B 超過回数 (CH4)
	1-248 433417	回路 2 レベル C 超過回数 (CH4)
	1-248 433419	回路 2 レベル D 超過回数 (CH4)
	1-249 400764	機種コード
	1-249 432769	回路 2 機種コード

* 回路 3 以降のデバイス番号は、回路 2 のデバイス番号に「+ 1792 × (回路番号 - 2)」したデバイス番号になります。サンプルでは、回路 2 のデバイス番号にオフセットを設定して回路 3 以降の計測項目を表示しています。

5.4.2 GOT の内部デバイス

タイプ	デバイス番号	用途
ビット	GB40	スクリプトトリガ (常時 ON)
	GB61000	ロギング ID : 30001 トリガデバイス
	GB61001	ロギング ID : 30001 ロギング処理中通知デバイス
	GB61002	ロギング ID : 30001 ファイル終端トリガ
	GB61003	ロギング ID : 30001 ファイル終端通知デバイス
	GB61004	ロギング ID : 30002 トリガデバイス
	GB61005	ロギング ID : 30002 ロギング処理中通知デバイス
	GB61006	ロギング ID : 30002 ファイル終端トリガ
	GB61007	ロギング ID : 30002 ファイル終端通知デバイス
	GB61008	ロギング ID : 30003 トリガデバイス
	GB61009	ロギング ID : 30003 ロギング処理中通知デバイス
	GB61010	ロギング ID : 30003 ファイル終端トリガ
	GB61011	ロギング ID : 30003 ファイル終端通知デバイス
	GB61012	ロギング ID : 30004 トリガデバイス
	GB61013	ロギング ID : 30004 ロギング処理中通知デバイス
	GB61014	ロギング ID : 30005 トリガデバイス
	GB61015	ロギング ID : 30005 ロギング処理中通知デバイス
	GB61016	ロギング ID : 30006 トリガデバイス
	GB61017	ロギング ID : 30006 ロギング処理中通知デバイス
	GB61018	ロギング ID : 30007 トリガデバイス
	GB61019	ロギング ID : 30007 ロギング処理中通知デバイス
	GB61020	オブジェクトスクリプトトリガ
	GB61021	レシピ 1 書き込みトリガデバイス
	GB61022	レシピ 1 読み出しトリガデバイス
	GB61023	スクリプト No. 30002 トリガデバイス
	GB61024	スクリプト No. 30004 トリガデバイス
	GD60031. b13	GOT エラーリセット信号
	GS512. b0	時刻変更信号
ワード	GD10	局番間接指定
	GD11	局番間接指定 局番/回路変更用
	GD60000	ベース画面切り換え
	GD60001	オーバーラップウィンドウ 1 画面切り換え
	GD60004	オーバーラップウィンドウ 2 画面切り換え
	GD60018	ダイアログウィンドウ画面切り換え
	GD60021	言語切り換え
	GD60022	システム言語切り換え
	GD60031、GD60041	システム情報
	GD61000	モニタ回路デバイス
	GD61001	モニタ回路オフセットデバイス
	GD61002	モニタ対象機種コード
	GD61004	変更後モニタ回路デバイス

タイプ	デバイス番号	用途
ワード	GD61005	変更後モニタ回路オフセットデバイス
	GD61006	変更後モニタ対象機種コード
	GD61007	変更後モニタ対象基本ユニット機種コード
	GD61008	変更後モニタ回路機種コード用オフセットデバイス
	GD61010	電力量グラフ ログイング ID デバイス
	GD61011	電力量グラフ グラフオフセットデバイス
	GD61012	電力量グラフ カーソル位置デバイス値
	GD61014	電力量グラフ 上限値デバイス
	GD61016～GD61019	電力量グラフ カーソル位置時刻
	GD61020～GD61023	電力量グラフ 表示開始位置時刻
	GD61024～GD61027	電力量グラフ 表示終了位置時刻
	GD61028、GD61029	電力量グラフ 上限値設定デバイス
	GD61030、GD61031	電力量グラフ 上限値入力範囲(上限)デバイス
	GD61032、GD61033	電力量グラフ 上限値入力範囲(下限)デバイス
	GD61034	総合電流グラフ ログイング ID デバイス
	GD61035	総合電流グラフ グラフオフセットデバイス
	GD61036	総合電流グラフ カーソル位置デバイス値
	GD61037	総合電流グラフ 上限値デバイス
	GD61038～GD61041	総合電流グラフ カーソル位置時刻
	GD61042～GD61045	総合電流グラフ 表示開始位置時刻
	GD61046～GD61049	総合電流グラフ 表示終了位置時刻
	GD61050、GD61051	総合電流グラフ 上限値設定 デバイス
	GD61052、GD61053	総合電流グラフ 上限値入力範囲(上限)デバイス
	GD61054、GD61055	総合電流グラフ 上限値入力範囲(下限)デバイス
	GD61056	拡張レシピ共通設定 外部制御デバイス
	GD61057	拡張レシピ共通設定 レシピ No. 格納デバイス
	GD61058	拡張レシピ共通設定 レコード No. 格納デバイス
	GD61059	拡張レシピ共通設定 外部通知デバイス
	GD61060	拡張レシピ共通設定 レシピ No. 通知デバイス
	GD61061	拡張レシピ共通設定 レコード No. 通知デバイス
	GD61062	拡張レシピ No. 30001 レコード No.
	GD61063	設定用デバイス
	GD61064	設定対象チャンネル番号
	GD61065	レベル A～D 入力範囲(下限)デバイス (CH1、CH3 用)
	GD61066	レベル A～D 入力範囲(上限)デバイス (CH1、CH3 用)
	GD61067	レベル A～D 入力範囲(下限)デバイス (CH2、CH4 用)
	GD61068	レベル A～D 入力範囲(上限)デバイス (CH2、CH4 用)
	GD62613	アラーム表示(ユーザ) コメント番号
	GD62614～GD62617	アラーム表示(ユーザ) 発生日時
	GD62618～GD62621	アラーム表示(ユーザ) 復旧日時
	GD62632～GD62634	電力量グラフ 表示位置時刻指定
	GD62635～GD62637	総合電流グラフ 表示位置時刻指定
	GD63990～GD63995	時計のデジスイッチ
	GS513～GS516	変更時刻
	GS650～GS652	現在時刻
	TMP800～TMP808	電力換算値 オブジェクトスクリプト演算用
	TMP809、TMP810	パルス換算値 1 オブジェクトスクリプト演算用
	TMP811、TMP812	パルス換算値 2 オブジェクトスクリプト演算用
	TMP813、TMP814	パルス換算値 3 オブジェクトスクリプト演算用
	TMP815、TMP816	パルス換算値 4 オブジェクトスクリプト演算用
	TMP950～TMP996	時計設定画面 オブジェクトスクリプト演算用

5.5 コメント一覧

コメント グループ No.	コメント No.	使用箇所
254	No. 1～20	B-30011(ユーザアラーム監視 ID 30001)
255	No. 1	B-30001～B-30011、B-30020～B-30025
	No. 2～4	B-30002～B-30011、B-30020～B-30025
	No. 6	B-30002～B-30011、B-30020～B-30025
	No. 7	B-30001～B-30011、B-30020～B-30025
	No. 10、11	B-30001～B-30011、B-30020～B-30025
	No. 18	B-30002～B-30008、B-30020～B-30025
	No. 19	B-30002～B-30008
	No. 20～35	B-30002、B-30003、B-30004
	No. 36	B-30002、B-30004
	No. 37	B-30002
	No. 38～46	B-30005
	No. 47	B-30005、B-30006、B-30007
	No. 48	B-30002～B-30008
	No. 60	B-30001、B-30009
	No. 61	B-30001、B-30010
	No. 62、63	B-30009、B-30010
	No. 65、66	B-30010
	No. 67、68	B-30009、B-30010
	No. 69	B-30009
	No. 70～79	B-30009、B-30010
	No. 80	B-30020、B-30021、B-30022、W-30015
	No. 81、82	B-30020、B-30021
	No. 83	B-30020、B-30021、W-30016
	No. 84～86	B-30020、B-30021
	No. 87	B-30022
	No. 88	B-30022、W-30017
	No. 93	B-30001、B-30020～B-30025
	No. 94	B-30020～B-30025
	No. 95	B-30001、B-30011
	No. 96、97	B-30011
	No. 98～100	W-30010
	No. 102～109	W-30003
	No. 110	W-30002
	No. 111	W-30003、W-30010
	No. 112、113	W-30001
	No. 115～132	B-30002、B-30004、B-30008
	No. 140～151、213	W-30010
	No. 215、216	W-30015～W-30018
	No. 217	B-30020～B-30024
	No. 300、301	W-30015～W-30018
	No. 303～306	B-30020～B-30022、W-30015
	No. 307	B-30020、W-30015
	No. 308	B-30021、W-30015
	No. 309	B-30020、B-30021、W-30015
	No. 310、311	B-30020、B-30021、W-30016
	No. 312、313	B-30022、W-30017
	No. 401	B-30006、B-30007
	No. 402～405	B-30006、B-30007、B-30023、B-30024
	No. 406～409	B-30006、B-30007

コメント グループ No.	コメント No.	使用箇所
255	No. 421～437	B-30006、B-30007、B-30023、B-30024
	No. 441～444、451	B-30023、B-30024、W-30018
	No. 461	B-30025

5.6 レシピ一覧

5.6.1 共通設定

外部制御情報

項目	デバイス
外部制御デバイス	GD61056
レシピ No. 格納デバイス	GD61057
レコード No. 格納デバイス	GD61058

外部通知情報

項目	デバイス
外部通知デバイス	GD61059
レシピ No. 通知デバイス	GD61060
レコード No. 通知デバイス	GD61061

5.6.2 個別設定

レシピ No. 30001 レシピ 1

項目		設定
レシピファイル	レシピファイル	レシピファイルを使用する（書き込み・読出しを実行）
	ファイル形式	G2P（バイナリ）
	ドライブ名	A:標準 SD カード
	フォルダ名	Package1
	ファイル名	ARP30001. G2P
トリガデバイス	書き込みトリガデバイス 1	GB61021
	読み出しトリガデバイス 1	GB61022
	レコード No. デバイス	GD61062
ブロック数		2
レコード数		1
ブロック 1	デバイス	GD61014
	デバイス形式	符号付き BIN32
	点数	1
ブロック 2	デバイス	GD61037
	デバイス形式	符号なし BIN16
	点数	1

5.7 ロギング一覧

ロギング ID : 30001 ロギング 1

項目		設定
ロギング方式		ファイル保存モード
	保存ファイル数	62
	1 ファイル内ログ件数	24
	ファイル終端トリガ	GB61002
	ファイル終端通知デバイス	GB61003
ロギングトリガ	トリガ種別	立上り
	デバイス	GB61000
ロギング処理中通知デバイス		GB61001
ブロック数		1
ブロック 1	デバイス	1-1 401305
	デバイス形式	符号付き BIN32
	点数	1
保存先	ドライブ名	A: 標準 SD カード
	フォルダ名	Package1¥LOG30001
	ファイル名	LOG30001
	ファイル名に日付情報を付加する	付加する
追加ファイル出力	追加でファイルを出力する	CSV
	保存先	ロギングファイルと同じ

ロギング ID : 30002 ロギング 2

項目		設定
ロギング方式		ファイル保存モード
	保存ファイル数	24
	1 ファイル内ログ件数	31
	ファイル終端トリガ	GB61006
	ファイル終端通知デバイス	GB61007
ロギングトリガ	トリガ種別	立上り
	デバイス	GB61004
ロギング処理中通知デバイス		GB61005
ブロック数		1
ブロック 1	デバイス	1-1 401305
	デバイス形式	符号付き BIN32
	点数	1
保存先	ドライブ名	A: 標準 SD カード
	フォルダ名	Package1¥LOG30002
	ファイル名	LOG30002
	ファイル名に日付情報を付加する	付加する
追加ファイル出力	追加でファイルを出力する	CSV
	保存先	ロギングファイルと同じ

ロギング ID : 30003 ロギング 3

項目		設定
ロギング方式		ファイル保存モード
	保存ファイル数	3
	1 ファイル内ログ件数	12
	ファイル終端トリガ	GB61010
	ファイル終端通知デバイス	GB61011
ロギングトリガ	トリガ種別	立上り
	デバイス	GB61008
ロギング処理中通知デバイス		GB61009
ブロック数		1
ブロック 1	デバイス	1-1 401305
	デバイス形式	符号付き BIN32
	点数	1
保存先	ドライブ名	A: 標準 SD カード
	フォルダ名	Package1\LOG30003
	ファイル名	LOG30003
	ファイル名に日付情報を付加する	付加する
追加ファイル出力	追加でファイルを出力する	CSV
	保存先	ロギングファイルと同じ

ロギング ID : 30004 ロギング 4

項目		設定
ロギング方式		ファイル保存モード
	保存ファイル数	1
	1 ファイル内ログ件数	31
ロギングトリガ	トリガ種別	立上り
	デバイス	GB61012
ロギング処理中通知デバイス		GB61013
ブロック数		1
ブロック 1	デバイス	1-1 400773
	デバイス形式	符号付き BIN16
	点数	1
保存先	ドライブ名	A: 標準 SD カード
	フォルダ名	Package1\LOG30004
	ファイル名	LOG30004

ロギング ID : 30005 ロギング 5

項目		設定
ロギング方式		ファイル保存モード
	保存ファイル数	1
	1 ファイル内ログ件数	31
ロギングトリガ	トリガ種別	立上り
	デバイス	GB61014
ロギング処理中通知デバイス		GB61015
ブロック数		1
ブロック 1	デバイス	1-1 400773
	デバイス形式	符号付き BIN16
	点数	1
保存先	ドライブ名	A: 標準 SD カード
	フォルダ名	Package1\LOG30005
	ファイル名	LOG30005

ロギング ID : 30006 ロギング 6

項目		設定
ロギング方式		ファイル保存モード
	保存ファイル数	1
	1 ファイル内ログ件数	31
ロギングトリガ	トリガ種別	立上り
	デバイス	GB61016
ロギング処理中通知デバイス		GB61017
ブロック数		1
ブロック 1	デバイス	1-1 400773
	デバイス形式	符号付き BIN16
	点数	1
保存先	ドライブ名	A: 標準 SD カード
	フォルダ名	Package1¥LOG30006
	ファイル名	LOG30006

ロギング ID : 30007 ロギング 7

項目		設定
ロギング方式		ファイル保存モード
	保存ファイル数	1
	1 ファイル内ログ件数	31
ロギングトリガ	トリガ種別	立上り
	デバイス	GB61018
ロギング処理中通知デバイス		GB61019
ブロック数		1
ブロック 1	デバイス	1-1 400773
	デバイス形式	符号付き BIN16
	点数	1
保存先	ドライブ名	A: 標準 SD カード
	フォルダ名	Package1¥LOG30007
	ファイル名	LOG30007

5.8 スクリプト一覧

項目	設定
プロジェクトスクリプト	有り
画面スクリプト	有り : B-30001、B-30009、B-30010、B-30023、B-30024、W-30010
オブジェクトスクリプト	有り : B-30002~30010、B-30021、B-30023、B-30024、 W-30003、W-30015、W-30016、W-30018

5.8.1 プロジェクトスクリプト

スクリプト No.	30001	スクリプト名	Script30001
コメント	画面起動時の処理		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB40
<p>//画面起動時に実行する処理です。</p> <p>[w:GD10] = 1; //モニタ局番に 1 を設定 [w:GD61000] = 1; //モニタ回路に 1 を設定 [w:GD61004] = 1; //モニタ回路に 1 を設定</p> <p>//グラフの初期 [w:GD61010] = 30001; //電力量グラフを 1 時間に設定 [w:GD61034] = 30004; //電流グラフを 1 分間に設定</p> <p>//拡張レシピからグラフ上限値を設定 [w:GD61062] = 1; //レコード No. 1 設定 set([b:GB61021]); //書込みしトリガ ON</p>			
スクリプト No.	30002	スクリプト名	Script30002
コメント	ログトリガ		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON中 GB61023
<p>//ロギングトリガを ON する。</p> <p>//GOT 時計が 00 秒にロギングトリガを ON する。 if((([w:GS652] & 0x00FF) == 0)) { set([b:GB61012]); //総合電流 1 分間ロギングトリガを ON</p> <p>//*0 分 00 秒 if((([w:GS652] & 0x0F00) == 0x0000)) { set([b:GB61014]); //総合電流 10 分ロギングトリガを ON }</p> <p>//00 分 00 秒 if((([w:GS652] & 0xFF00) == 0x0000)) { set([b:GB61000]); //電力量 1 時間ロギングトリガを ON set([b:GB61016]); //総合電流 1 時間ロギングトリガを ON</p> <p>//00 時 00 分 00 秒 if((([w:GS651] & 0x00FF) == 0x0000)) { set([b:GB61004]); //電力量 1 日ロギングトリガを ON set([b:GB61018]); //総合電流 1 日ロギングトリガを ON</p>			

```

//01 日 00 時 00 分 00 秒にロギングトリガを ON する。
if(([w:GS651] & 0xFF00) == 0x0100)
{
    set([b:GB61008]); //電力量 1 月ロギングトリガを ON
}
}
}
else
{
    //00 秒以外かつロギング通知デバイスが ON の場合にロギングトリガを OFF

    if([b:GB61013])
    {
        rst([b:GB61012]); //総合電流 1 分間ロギングトリガを OFF
    }
    if([b:GB61015])
    {
        rst([b:GB61014]); //総合電流 10 分ロギングトリガを OFF
    }
    if([b:GB61017])
    {
        rst([b:GB61016]); //総合電流 1 時間ロギングトリガを OFF
    }
    if([b:GB61019])
    {
        rst([b:GB61018]); //総合電流 1 日ロギングトリガを OFF
    }

    if([b:GB61001])
    {
        rst([b:GB61000]); //電力量 1 時間ロギングトリガを OFF
        //00 時の場合、ファイル終端トリガを ON しファイルを保存する。
        if(([w:GS651] & 0x00FF) == 0x0000)
        {
            set([b:GB61002]); //電力量 1 時間ロギングファイル終端トリガ ON
        }
    }
    //ファイル終端通知デバイスが ON したら、ファイル終端トリガを OFF する。
    if([b:GB61003])
    {
        rst([b:GB61002]); //電力量 1 時間ロギングファイル終端トリガ OFF
    }

    if([b:GB61005])
    {
        rst([b:GB61004]); //電力量 1 日ロギングトリガを OFF
        //01 日の場合、ファイル終端トリガを ON しファイルを保存する。
        if(([w:GS651] & 0xFF00) == 0x0100)
        {
            set([b:GB61006]); //電力量 1 日ロギングファイル終端トリガ ON
        }
    }
    //ファイル終端通知デバイスが ON したら、ファイル終端トリガを OFF する。
    if([b:GB61007])
    {

```


<pre> rst([b:GB61006]); //電力量 1 時間ロギングファイル終端トリガ OFF } if([b:GB61009]) { rst([b:GB61008]); //電力量 1 月ロギングトリガを OFF //01 月の場合、ファイル終端トリガを ON しファイルを保存する。 if((([w:GS650] & 0x00FF) == 0x0001) { set([b:GB61010]); //電力量 1 月ロギングファイル終端トリガ ON } } //ファイル終端通知デバイスが ON したら、ファイル終端トリガを OFF する。 if([b:GB61011]) { rst([b:GB61010]); //電力量 1 時間ロギングファイル終端トリガ OFF } } </pre>			
スクリプト No.	30005	スクリプト名	Script30005
コメント	レシピ書き込みトリガ OFF		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中周期/2 秒 GB61021
<pre> rst([b:GB61021]); //レシピ書き込みトリガ OFF set([b:GB61023]); //2 秒後にロギングを開始する </pre>			

5.8.2 画面スクリプト

ベース画面 30001

スクリプト No.	30006	スクリプト名	Script30006
コメント	初期機種コード取得		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	周期/1 秒
<pre> //局番&回路設定が共に 1 の場合 (初期) if((([w:GD10] == 1) && ([w:GD61000] == 1)) { //機種コードを取得する。 [w:GD61002] = [1-248:w:400764]; } </pre>			

ベース画面 30009

スクリプト No.	30009	スクリプト名	Script30009
コメント	現在時刻取得		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB40
<pre> //画面表示時に年月日時分秒を格納 [w:GD62632]=[w:GS650]; [w:GD62633]=[w:GS651]; [w:GD62634]=[w:GS652]; </pre>			

ベース画面 30010

スクリプト No.	30010	スクリプト名	Script30010
コメント	現在時刻取得		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB40
<pre> //画面表示時に年月日時分秒を格納 [w:GD62635]=[w:GS650]; [w:GD62636]=[w:GS651]; [w:GD62637]=[w:GS652]; </pre>			

ベース画面 30023

スクリプト No.	30011	スクリプト名	Script30011
コメント	スケーリング上下限值取得 (CH1/CH2 用)		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時
<pre>//EMU4-AX4 のパラメータ設定画面で、 //レベル A～D の入力範囲としてスケーリング上下限值を取得する //スケーリング下限値 (CH1) [w:GD61065] = [1-248:s16:432861[w:GD61001]]; //スケーリング上限値 (CH1) [w:GD61066] = [1-248:s16:432862[w:GD61001]]; //スケーリング下限値 (CH2) [w:GD61067] = [1-248:s16:432867[w:GD61001]]; //スケーリング上限値 (CH2) [w:GD61068] = [1-248:s16:432868[w:GD61001]];</pre>			

ベース画面 30024

スクリプト No.	30012	スクリプト名	Script30012
コメント	スケーリング上下限值取得 (CH3/CH4 用)		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時
<pre>//EMU4-AX4 のパラメータ設定画面で、 //レベル A～D の入力範囲としてスケーリング上下限值を取得する //スケーリング下限値 (CH3) [w:GD61065] = [1-248:s16:432873[w:GD61001]]; //スケーリング上限値 (CH3) [w:GD61066] = [1-248:s16:432874[w:GD61001]]; //スケーリング下限値 (CH4) [w:GD61067] = [1-248:s16:432879[w:GD61001]]; //スケーリング上限値 (CH4) [w:GD61068] = [1-248:s16:432880[w:GD61001]];</pre>			

ウィンドウ画面 30010

スクリプト No.	30003	スクリプト名	Script30003
コメント	対象局回路設定処理		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時
<pre>//回路設定値により回路オフセットデバイスを変更する。 switch([s16:GD61004]) { case 1: [s16:GD61005] = 0; [u16:GD61008] = -32005; break; case 2: [s16:GD61005] = 0; [u16:GD61008] = 0; break; case 3: [s16:GD61005] = 1792; [u16:GD61008] = 1792; break; case 4: [s16:GD61005] = 1792 * 2; [u16:GD61008] = 1792 * 2; break;</pre>			

```

case 5: [s16:GD61005] = 1792 * 3;
        [u16:GD61008] = 1792 * 3;
        break;

case 6: [s16:GD61005] = 1792 * 4;
        [u16:GD61008] = 1792 * 4;
        break;

case 7: [s16:GD61005] = 1792 * 5;
        [u16:GD61008] = 1792 * 5;
        break;

default:
}

```

```

//機種コード取得スクリプトトリガ
set([b:GB61024]);

```

スクリプト No.	30004	スクリプト名	Script30004
コメント	機種コード取得		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中周期/1 秒 GB61024

```

[s16:GD61006] = -1;
//対象局番の基本ユニットの機種コードを取得
[s16:GD61007] = [1-249:s16:400764];

//基本ユニットの機種コードが 3, 4, 7 以外は
if(!([s16:GD61007] == 3) || ([s16:GD61007] == 4) || ([s16:GD61007] == 7))
{
    [s16:GD61004] = 1; //回路設定値を 1 に設定 (増設ユニットが無い機種のため)
}

//設定回路の機種コードを取得
[s16:GD61006] = [1-249:s16:432769[s16:GD61008]];
//スクリプトトリガ OFF
rst([b:GB61024]);

```

スクリプト No.	30007	スクリプト名	Script30007
コメント	対象局&回路変更		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	画面を閉じる時

```

if([b:GB61020])
{
    [w:GD10] = [w:GD11]; //変更後局番を反映
    [w:GD61000] = [w:GD61004]; //変更後回路を反映
    [w:GD61001] = [w:GD61005]; //変更後オフセットを反映
    [w:GD61002] = [w:GD61006]; //変更後機種コードを反映

    //取得した機種コードおよびベース画面により切り換える画面を変更する
    switch([s16:GD61006])
    {
        //機種コードが 5, 6 (EMU4-A2/VA2) の場合
        case 5:
        case 6:
            //現在値モニタの場合
            if([s16:GD60000] >= 30002) && ([s16:GD60000] <= 30008)
            {
                //増設ユニット用画面に変更
                [s16:GD60000] = 30004;
            }
        }
    }
}

```

```

}

//パラメータ設定の場合
if(([s16:GD60000] >= 30020) && ([s16:GD60000] <= 30025))
{
    //増設ユニット用画面に変更
    [s16:GD60000] = 30021;
}
break;

//機種コードが 1, 2, 11 (EMU4-*D1-MB), 3 (EMU4-BM1-MB), 530~535 (ME96SS*-MB) の場合
case 1:
case 2:
case 3:
case 11:
case 530:
case 531:
case 532:
case 533:
case 534:
case 535:
    //現在値モニタの場合
    if(([s16:GD60000] >= 30002) && ([s16:GD60000] <= 30008))
    {
        //基本ユニット用画面に変更
        [s16:GD60000] = 30003;
    }
    //パラメータ設定の場合
    if(([s16:GD60000] >= 30020) && ([s16:GD60000] <= 30025))
    {
        //基本ユニット用画面に変更
        [s16:GD60000] = 30020;
    }
    break;

//機種コードが 4 (EMU4-HM1-MB) の場合
case 4:
    //現在値モニタの場合
    if(([s16:GD60000] >= 30002) && ([s16:GD60000] <= 30008))
    {
        //基本ユニット用画面に変更
        [s16:GD60000] = 30002;
    }
    //パラメータ設定の場合
    if(([s16:GD60000] >= 30020) && ([s16:GD60000] <= 30025))
    {
        //基本ユニット用画面に変更
        [s16:GD60000] = 30020;
    }
    break;

//機種コードが 7 (EMU4-LG1-MB) の場合
case 7:
    //現在値モニタの場合

```

```

    if(([s16:GD60000] >= 30002) && ([s16:GD60000] <= 30008))
    {
        //基本ユニット用画面に変更
        [s16:GD60000] = 30005;
    }
    //パラメータ設定の場合
    if(([s16:GD60000] >= 30020) && ([s16:GD60000] <= 30025))
    {
        //基本ユニット用画面に変更
        [s16:GD60000] = 30022;
    }
    break;

//機種コードが 9 (EMU4-AX4) の場合
case 9:
    //現在値モニタの場合
    if(([s16:GD60000] >= 30002) && ([s16:GD60000] <= 30008))
    {
        //AX4 用画面に変更
        [s16:GD60000] = 30006;
    }

    //パラメータ設定の場合
    if(([s16:GD60000] >= 30020) && ([s16:GD60000] <= 30025))
    {
        //AX4 用画面に変更
        [s16:GD60000] = 30023;
    }
    break;

//機種コードが 10 (EMU4-PX4) の場合
case 10:
    //現在値モニタの場合
    if(([s16:GD60000] >= 30002) && ([s16:GD60000] <= 30008))
    {
        //PX4 用画面に変更
        [s16:GD60000] = 30008;
    }

    //パラメータ設定の場合
    if(([s16:GD60000] >= 30020) && ([s16:GD60000] <= 30025))
    {
        //PX4 用画面に変更
        [s16:GD60000] = 30025;
    }
    break;

//その他機種の場合は何も処理をおこなわない。
default:
}
}
//スクリプトトリガデバイスを OFF する
rst([b:GB61020]);
rst([b:GB61024]);

```

5.8.3 オブジェクトスクリプト

ベース画面 30002

オブジェクト(名称)	数値表示(1 相電流_数値)、数値表示(2 相電流_数値)、数値表示(3 相電流_数値)、 数値表示(1 相電流デマンド_数値)、数値表示(2 相電流デマンド_数値)、 数値表示(3 相電流デマンド_数値)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時
<pre>//小数点の位置を算出しています。 switch([1-248:s16:400755]) { case -3: my.decimal_point = 3; break; case -2: my.decimal_point = 2; break; case -1: my.decimal_point = 1; break; case 0: my.decimal_point = 0; break; case 1: my.decimal_point = 0; \$V = \$\$ *10; break; }</pre>			
redraw_object();			
オブジェクト(名称)	数値表示(1-2 線間電圧_数値_数値)、数値表示(2-3 線間電圧_数値_数値)、 数値表示(3-1 線間電圧_数値_数値)、		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時
<pre>//小数点の位置を算出しています。 switch([1-248:s16:400756]) { case -3: my.decimal_point = 3; break; case -2: my.decimal_point = 2; break; case -1: my.decimal_point = 1; break; case 0: my.decimal_point = 0; break; case 1: my.decimal_point = 0; \$V = \$\$ *10; break; }</pre>			
redraw_object();			

オブジェクト(名称)	数値表示(電力_数値)、数値表示(電力デマンド_数値)、数値表示(無効電力_数値)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時
<pre>//小数点の位置を算出しています。 switch([1-248:s16:400757]) { case -4: my.decimal_point = 4; break; case -3: my.decimal_point = 3; break; case -2: my.decimal_point = 2; break; case -1: my.decimal_point = 1; break; case 0: my.decimal_point = 0; break; case 1: my.decimal_point = 0; \$V = \$\$ *10; break; case 2: my.decimal_point = 0; \$V = \$\$ *100; break; }</pre> <pre>redraw_object();</pre>			
オブジェクト(名称)	数値表示(電力量_数値)、数値表示(無効電力量_数値)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN32	トリガ種別	常時
<pre>//小数点の位置を算出しています。 switch([1-248:s16:400758]) { case -3: my.decimal_point = 3; break; case -2: my.decimal_point = 2; break; case -1: my.decimal_point = 1; break; case 0: my.decimal_point = 0; break; case 1: my.decimal_point = 0; \$V = \$\$ * 10; break; case 2: my.decimal_point = 0; \$V = \$\$ * 100; break; case 3: my.decimal_point = 0; \$V = \$\$ * 1000; }</pre>			

break;			
}			
redraw_object();			
オブジェクト(名称)	数値表示(電力量換算値_数値)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN32	トリガ種別	常時
<pre>//全負荷電力を計算する。 //全負荷電力=α × 一次電圧 × 一次電流 / 1000 //αは相線式により決まる定数 //各設定値をテンポラリワークに格納 [flt:TMP800] = [1-248:s32:400514]; //一次電圧(線間電圧) [flt:TMP802] = [1-248:s32:400516]; //一次電圧(相間電圧) [flt:TMP804] = [1-248:s32:400520]; //一次電流 [s16:TMP806] = [1-248:s16:400513]; //相線式 //全負荷電力を求める switch([s16:TMP806]) { //相線式=1P2W の場合 α=1 case 1: [flt:TMP807] = [flt:TMP800] * [flt:TMP804] / 10000; break; //相線式=1P3W の場合 α=2 case 2: case 5: [flt:TMP807] = 2 * [flt:TMP800] * [flt:TMP804] / 10000; break; //相線式=3P3W の場合 α=1.732 case 3: case 6: [flt:TMP807] = 1.732 * [flt:TMP800] * [flt:TMP804] / 10000; break; //相線式=3P4W の場合 α=3 一次電圧(相間電圧) case 4: [flt:TMP807] = 3 * [flt:TMP802] * [flt:TMP804] / 100000; break; } //全負荷電力より電力換算値の小数点位置を算出 if([flt:TMP807] < 12) { //12kW 未満の場合 : 小数 2 桁 my.decimal_point = 2; } else { if([flt:TMP807] < 120) { //12kW 以上 120kW 未満の場合 : 小数 1 桁 my.decimal_point = 1; } else { if([flt:TMP807] < 1200) { //120kW 以上 1200kW 未満の場合 : 整数 my.decimal_point = 0; } } }</pre>			

<pre> break; case -1: my.decimal_point = 1; break; case 0: my.decimal_point = 0; break; case 1: my.decimal_point = 0; \$V = \$\$ *10; break; } redraw_object(); </pre>			
オブジェクト(名称)	数値表示(1-2 線間電圧_数値_数値)、数値表示(2-3 線間電圧_数値_数値)、数値表示(3-1 線間電圧_数値_数値)、		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時
<pre> //小数点の位置を算出しています。 switch([1-248:s16:400756]) { case -3: my.decimal_point = 3; break; case -2: my.decimal_point = 2; break; case -1: my.decimal_point = 1; break; case 0: my.decimal_point = 0; break; case 1: my.decimal_point = 0; \$V = \$\$ *10; break; } redraw_object(); </pre>			
オブジェクト(名称)	数値表示(電力_数値)、数値表示(電力デマンド_数値)、数値表示(無効電力_数値)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時
<pre> //小数点の位置を算出しています。 switch([1-248:s16:400757]) { case -4: my.decimal_point = 4; break; case -3: my.decimal_point = 3; break; case -2: my.decimal_point = 2; break; case -1: my.decimal_point = 1; break; } </pre>			

```

case 0:  my.decimal_point = 0;
        break;

case 1:  my.decimal_point = 0;
        $V = $$ *10;
        break;

case 2:  my.decimal_point = 0;
        $V = $$ *100;
        break;
}

```

redraw_object();

オブジェクト(名称)	数値表示(電力量_数値)、数値表示(無効電力量_数値)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN32	トリガ種別	常時

//小数点の位置を算出しています。

```

switch([1-248:s16:400758])
{
  case -3:  my.decimal_point = 3;
            break;

  case -2:  my.decimal_point = 2;
            break;

  case -1:  my.decimal_point = 1;
            break;

  case 0:   my.decimal_point = 0;
            break;
  case 1:   my.decimal_point = 0;
            $V = $$ * 10;
            break;
  case 2:   my.decimal_point = 0;
            $V = $$ * 100;
            break;
  case 3:   my.decimal_point = 0;
            $V = $$ * 1000;
            break;
}

```

redraw_object();

ベース画面 30004

オブジェクト(名称)	数値表示(1相電流_数値)、数値表示(2相電流_数値)、数値表示(3相電流_数値)、 数値表示(1相電流デマンド_数値)、数値表示(2相電流デマンド_数値)、 数値表示(3相電流デマンド_数値)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時

//小数点の位置を算出しています。

```

switch([1-248:s16:432772[s16:GD61001]])
{
  case -3:  my.decimal_point = 3;
            break;
}

```

```

case -2: my.decimal_point = 2;
        break;

case -1: my.decimal_point = 1;
        break;

case 0:  my.decimal_point = 0;
        break;

case 1:  my.decimal_point = 0;
        $V = $$ *10;
        break;
}

```

redraw_object();

オブジェクト(名称)	数値表示(1-2 線間電圧_数値_数値)、数値表示(2-3 線間電圧_数値_数値)、 数値表示(3-1 線間電圧_数値_数値)、		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時

```

//小数点の位置を算出しています。
switch([1-248:s16:432773[s16:GD61001]])
{
case -3: my.decimal_point = 3;
        break;

case -2: my.decimal_point = 2;
        break;

case -1: my.decimal_point = 1;
        break;

case 0:  my.decimal_point = 0;
        break;

case 1:  my.decimal_point = 0;
        $V = $$ *10;
        break;
}

```

redraw_object();

オブジェクト(名称)	数値表示(電力_数値)、数値表示(電力デマンド_数値)、数値表示(無効電力_数値)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時

```

//小数点の位置を算出しています。
switch([1-248:s16:432774[s16:GD61001]])
{
case -4: my.decimal_point = 4;
        break;

case -3: my.decimal_point = 3;
        break;

case -2: my.decimal_point = 2;
        break;

case -1: my.decimal_point = 1;

```

```

        break;

    case 0:    my.decimal_point = 0;
        break;

    case 1:    my.decimal_point = 0;
        $V = $$ *10;
        break;

    case 2:    my.decimal_point = 0;
        $V = $$ *100;
        break;
}

```

```
redraw_object();
```

オブジェクト(名称)	数値表示(電力量_数値)、数値表示(無効電力量_数値)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN32	トリガ種別	常時

```

//小数点の位置を算出しています。
switch([1-248:s16:432775[s16:GD61001]])
{
    case -3: my.decimal_point = 3;
        break;

    case -2: my.decimal_point = 2;
        break;

    case -1: my.decimal_point = 1;
        break;

    case 0:  my.decimal_point = 0;
        break;
    case 1:  my.decimal_point = 0;
        $V = $$ * 10;
        break;
    case 2:  my.decimal_point = 0;
        $V = $$ * 100;
        break;
    case 3:  my.decimal_point = 0;
        $V = $$ * 1000;
        break;
}

```

```
redraw_object();
```

オブジェクト(名称)	数値表示(電力量換算値_数値)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN32	トリガ種別	常時

```

//全負荷電力を計算する。
//全負荷電力=α×一次電圧×一次電流/1000
//αは相線式により決まる定数

```

```
//各設定値をテンポラリワークに格納
```

```

[flt:TMP800] = [1-248:s32:432782[s16:GD61001]]; //一次電圧(線間電圧)
[flt:TMP802] = [1-248:s32:432784[s16:GD61001]]; //一次電圧(相間電圧)
[flt:TMP804] = [1-248:s32:432791[s16:GD61001]]; //一次電流
[s16:TMP806] = [1-248:s16:432781[s16:GD61001]]; //相線式

```

```

//全負荷電力を求める
switch([s16:TMP806])
{
    //相線式=1P2W の場合  $\alpha=1$ 
    case 1: [flt:TMP807] = [flt:TMP800] * [flt:TMP804] / 10000;
        break;
    //相線式=1P3W の場合  $\alpha=2$ 
    case 2:
    case 5:
        [flt:TMP807] = 2 * [flt:TMP800] * [flt:TMP804] / 10000;
        break;
    //相線式=3P3W の場合  $\alpha=1.732$ 
    case 3:
    case 6:
        [flt:TMP807] = 1.732 * [flt:TMP800] * [flt:TMP804] / 10000;
        break;
    //相線式=3P4W の場合  $\alpha=3$  一次電圧(相間電圧)
    case 4: [flt:TMP807] = 3 * [flt:TMP802] * [flt:TMP804] / 100000;
        break;
}

//全負荷電力より電力換算値の小数点位置を算出
if([flt:TMP807] < 12)
{
    //12kW 未満の場合 : 小数 2 桁
    my.decimal_point = 2;
}
else
{
    if([flt:TMP807] < 120)
    {
        //12kW 以上 120kW 未満の場合 : 小数 1 桁
        my.decimal_point = 1;
    }
    else
    {
        if([flt:TMP807] < 1200)
        {
            //120kW 以上 1200kW 未満の場合 : 整数
            my.decimal_point = 0;
        }
        else
        {
            if([flt:TMP807] < 12000)
            {
                //1200kW 以上 12000kW 未満の場合 :  $\times 10$ 
                my.decimal_point = 0;
                $V = $$ * 10;
            }
            else
            {
                if([flt:TMP807] < 120000)
                {
                    //12000kW 以上 120000kW 未満の場合 :  $\times 100$ 
                    my.decimal_point = 0;
                    $V = $$ * 100;
                }
            }
        }
    }
}

```

```

    }
    else
    {
        if([flt:TMP807] < 1200000)
        {
            //120000kW 以上 1200000kW 未満の場合 : ×1000
            my.decimal_point = 0;
            $V = $$ * 1000;
        }
        else
        {
            //1200000kW 以上の場合 : ×10000
            my.decimal_point = 0;
            $V = $$ * 10000;
        }
    }
}
}
}
}

redraw_object();

```

ベース画面 30005

オブジェクト(名称)	数値表示(漏洩電流_数値)、数値表示(漏洩電流デマンド_数値)、 数値表示(抵抗分漏洩電流_数値)、数値表示(抵抗分漏洩電流デマンド_数値)、 数値表示(抵抗分漏洩電流差分変換値_数値)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN32	トリガ種別	常時
<pre> //小数点の位置を算出しています。 switch([1-248:s16:400755]) { case -3: my.decimal_point = 3; break; case -2: my.decimal_point = 2; break; case -1: my.decimal_point = 1; break; case 0: my.decimal_point = 0; break; case 1: my.decimal_point = 0; \$V = \$\$ *10; break; } redraw_object(); </pre>			

ベース画面 30006

オブジェクト(名称)	数値表示(レベル A 超過回数_数値)、数値表示(レベル B 超過回数_数値)、 数値表示(レベル C 超過回数_数値)、数値表示(レベル D 超過回数_数値)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN32	トリガ種別	常時
<pre>//レベル超過回数モニタ乗率を適用します。 switch([1-248:s16:432914[s16:GD61001]]) { case 0: \$V = \$\$; break; case 1: \$V = \$\$ * 10; break; case 2: \$V = \$\$ * 100; break; case 3: \$V = \$\$ * 1000; break; } redraw_object();</pre>			

ベース画面 30007

オブジェクト(名称)	数値表示(レベル A 超過回数_数値)、数値表示(レベル B 超過回数_数値)、 数値表示(レベル C 超過回数_数値)、数値表示(レベル D 超過回数_数値)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN32	トリガ種別	常時
<pre>//レベル超過回数モニタ乗率を適用します。 switch([1-248:s16:432914[s16:GD61001]]) { case 0: \$V = \$\$; break; case 1: \$V = \$\$ * 10; break; case 2: \$V = \$\$ * 100; break; case 3: \$V = \$\$ * 1000; break; } redraw_object();</pre>			

ベース画面 30008

オブジェクト(名称)	数値表示(パルス換算値 1_数値)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN32	トリガ種別	常時
<pre>//パルス換算率よりパルス換算値の小数点位置を算出 [s32:TMP809] = [1-248:s32:432812[s16:GD61001]]; //パルス換算率をテンポラリワークに格納 if([s32:TMP809] < 10) { //0.01 未満の場合：小数 3 桁 my.decimal_point = 3; } else { if([s32:TMP809] < 100) { //0.01 以上 0.1 未満の場合：小数 2 桁 my.decimal_point = 2; } else { if([s32:TMP809] < 1000) { //0.1 以上 1 未満の場合：小数 1 桁 my.decimal_point = 1; } else { if([s32:TMP809] < 10000) { //1 以上 10 未満の場合：整数 my.decimal_point = 0; } else { if([s32:TMP809] < 100000) { //10 以上 100 未満の場合：×10 my.decimal_point = 0; \$V = \$\$ * 10; } else { if([s32:TMP809] < 1000000) { //100 以上 1000 未満の場合：×100 my.decimal_point = 0; \$V = \$\$ * 100; } else { //1000 以上の場合：×1000 my.decimal_point = 0; \$V = \$\$ * 1000; } } } } } }</pre>			

<pre> } } } redraw_object(); </pre>			
オブジェクト(名称)	数値表示(パルス換算値 2_数値)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN32	トリガ種別	常時
<pre> //パルス換算率よりパルス換算値の小数点位置を算出 [s32:TMP811] = [1-248:s32:432930[s16:GD61001]]://パルス換算率をテンポラリワークに格納 if([s32:TMP811] < 10) { //0.01 未満の場合：小数 3 桁 my.decimal_point = 3; } else { if([s32:TMP811] < 100) { //0.01 以上 0.1 未満の場合：小数 2 桁 my.decimal_point = 2; } else { if([s32:TMP811] < 1000) { //0.1 以上 1 未満の場合：小数 1 桁 my.decimal_point = 1; } else { if([s32:TMP811] < 10000) { //1 以上 10 未満の場合：整数 my.decimal_point = 0; } else { if([s32:TMP811] < 100000) { //10 以上 100 未満の場合：×10 my.decimal_point = 0; \$V = \$\$ * 10; } else { if([s32:TMP811] < 1000000) { //100 以上 1000 未満の場合：×100 my.decimal_point = 0; \$V = \$\$ * 100; } else { //1000 以上の場合：×1000 my.decimal_point = 0; </pre>			


```

        //100 以上 1000 未満の場合 : ×100
        my.decimal_point = 0;
        $V = $$ * 100;
    }
    else
    {
        //1000 以上の場合 : ×1000
        my.decimal_point = 0;
        $V = $$ * 1000;
    }
}
}
}
}
}
}
}
}
}
}

redraw_object();

```

ベース画面 30009

オブジェクト(名称)	数値入力(ヒストリカルグラフ上限) (入力オブジェクトスクリプト)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	実数	トリガ種別	入力確定時
//電力量乗率によりグラフ上限を設定する switch([1-248:s16:400758]) { case -2: [u32:GD61014] = \$W * 100; break; case -1: [u32:GD61014] = \$W * 10; break; case 0: [u32:GD61014] = \$W; break; case 1: [u32:GD61014] = \$W / 10; break; case 2: [u32:GD61014] = \$W / 100; break; case 3: [u32:GD61014] = \$W / 1000; break; } 			
オブジェクト(名称)	数値入力(ヒストリカルグラフ上限) (表示オブジェクトスクリプト)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	実数	トリガ種別	常時
//電力量の乗率により //グラフ上限値入力範囲 //グラフ上限表示値の切捨て //グラフ上限表示値の小数点位置を算出 switch([1-1:s16:400758]) { case -3: [flt:GD61030] = 1000; [flt:GD61032] = 0.001; [flt:GD61028] = [u32:GD61014] / 1000; my.decimal_point = 3; 			

```

        break;

    case -2: [flt:GD61030] = 10000;
             [flt:GD61032] = 0.01;
             [flt:GD61028] = [u32:GD61014] / 100;
             my.decimal_point = 2;
             break;

    case -1: [flt:GD61030] = 100000;
             [flt:GD61032] = 0.1;
             [flt:GD61028] = [u32:GD61014] / 10;
             my.decimal_point = 1;
             break;

    case 0:  [flt:GD61030] = 1000000;
             [flt:GD61032] = 1;
             [flt:GD61028] = [u32:GD61014] * 1;
             my.decimal_point = 0;
             break;

    case 1:  [flt:GD61030] = 10000000;
             [flt:GD61032] = 10;
             [flt:GD61028] = [u32:GD61014] * 10;
             my.decimal_point = 0;
             break;

    case 2:  [flt:GD61030] = 100000000;
             [flt:GD61032] = 100;
             [flt:GD61028] = [u32:GD61014] * 100;
             my.decimal_point = 0;
             break;

    case 3:  [flt:GD61030] = 1000000000;
             [flt:GD61032] = 1000;
             [flt:GD61028] = [u32:GD61014] * 1000;
             my.decimal_point = 0;
             break;
}

```

```
redraw_object();
```

オブジェクト(名称)	数値表示(ヒストリカルグラフ中間)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	実数	トリガ種別	常時

```

$V = $$ /2;
//電力量の乗率により小数点の位置を算出
switch([1-1:s16:400758])
{
    case -3: my.decimal_point = 3;
             break;

    case -2: my.decimal_point = 2;
             break;

    case -1: my.decimal_point = 1;
             break;
}

```

```

case 0:
case 1:
case 2:
case 3:
    my.decimal_point = 0;
    break;
}

```

```
redraw_object();
```

オブジェクト(名称)	数値表示(現在値_No. 1)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN32	トリガ種別	常時

```

//小数点の位置を算出しています。
switch([1-1:s16:400758])
{
    case -3: my.decimal_point = 3;
        break;

    case -2: my.decimal_point = 2;
        break;

    case -1: my.decimal_point = 1;
        break;

    case 0:  my.decimal_point = 0;
        break;
    case 1:  my.decimal_point = 0;
        $V = $$ * 10;
        break;
    case 2:  my.decimal_point = 0;
        $V = $$ * 100;
        break;
    case 3:  my.decimal_point = 0;
        $V = $$ * 1000;
        break;
}

```

```
redraw_object();
```

オブジェクト(名称)	数値表示(カーソル情報_No. 1)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN32	トリガ種別	常時

```

//小数点の位置を算出しています。
switch([1-1:s16:400758])
{
    case -3: my.decimal_point = 3;
        break;

    case -2: my.decimal_point = 2;
        break;

    case -1: my.decimal_point = 1;
        break;

    case 0:  my.decimal_point = 0;
        break;
    case 1:  my.decimal_point = 0;

```



```

        $V = $$ * 10;
        break;
    case 2:    my.decimal_point = 0;
        $V = $$ * 100;
        break;
    case 3:    my.decimal_point = 0;
        $V = $$ * 1000;
        break;
}

redraw_object();

```

ベース画面 30010

オブジェクト(名称)	数値入力(ヒストリカルグラフ上限) (入力オブジェクトスクリプト)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	実数	トリガ種別	入力確定時
<pre> //電流乗率によりグラフ上限を設定する switch([1-248:s16:400755]) { case -3: [u16:GD61037] = \$W * 1000; break; case -2: [u16:GD61037] = \$W * 100; break; case -1: [u16:GD61037] = \$W * 10; break; case 0: [u16:GD61037] = \$W; break; case 1: [u16:GD61037] = \$W / 10; break; } </pre>			
オブジェクト(名称)	数値入力(ヒストリカルグラフ上限) (表示オブジェクトスクリプト)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	実数	トリガ種別	常時
<pre> //電流の乗率により //グラフ上限値入力範囲 //グラフ上限表示値の切捨て //グラフ上限表示値の小数点位置を算出 switch([1-1:s16:400755]) { case -3: [flt:GD61052] = 50; [flt:GD61054] = 0.001; [flt:GD61050] = [u16:GD61037] / 1000; my.decimal_point = 3; break; case -2: [flt:GD61052] = 500; [flt:GD61054] = 0.01; [flt:GD61050] = [u16:GD61037] / 100; my.decimal_point = 2; break; case -1: [flt:GD61052] = 5000; </pre>			

```
[flt:GD61054] = 0.1;
[flt:GD61050] = [u16:GD61037] / 10;
my.decimal_point = 1;
break;
```

```
case 0: [flt:GD61052] = 50000;
[flt:GD61054] = 1;
[flt:GD61050] = [u16:GD61037];
my.decimal_point = 0;
break;
```

```
case 1: [flt:GD61052] = 500000;
[flt:GD61054] = 10;
[flt:GD61050] = [u16:GD61037] * 10;
my.decimal_point = 0;
break;
```

```
}
```

オブジェクト(名称)	数値表示(ヒストリカルグラフ中間)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	実数	トリガ種別	常時

```
//グラフ中間値を算出
```

```
$V = $$ /2;
```

```
//電流の乗率により小数点位置を算出
```

```
switch([1-1:s16:400755])
```

```
{
case -3: my.decimal_point = 3;
break;
```

```
case -2: my.decimal_point = 2;
break;
```

```
case -1: my.decimal_point = 1;
break;
```

```
case 0:
case 1:
my.decimal_point = 0;
break;
```

```
}
```

```
redraw_object();
```

オブジェクト(名称)	数値表示(現在値_No.1)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時

```
//小数点の位置を算出しています。
```

```
switch([1-248:s16:400755])
```

```
{
case -3: my.decimal_point = 3;
break;
```

```
case -2: my.decimal_point = 2;
break;
```

```
case -1: my.decimal_point = 1;
break;
```

<pre> case 0: my.decimal_point = 0; break; } redraw_object(); </pre>			
オブジェクト(名称)	数値表示(カーソル情報_No. 1)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時
<pre> //小数点の位置を算出しています。 switch([1-248:s16:400755]) { case -3: my.decimal_point = 3; break; case -2: my.decimal_point = 2; break; case -1: my.decimal_point = 1; break; case 0: my.decimal_point = 0; break; } redraw_object(); </pre>			

ベース画面 30021

オブジェクト(名称)	スイッチ(相線式設定_スイッチ)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	デバイス書込み時
<pre> //相線式設定値を格納 [w:GD61063] = [1-248:s16:432781[w:GD61001]]; </pre>			
オブジェクト(名称)	数値入力 (一次電圧(線間電圧)) (表示プロジェクトスクリプト)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN16	データ形式	符号付き BIN16
<pre> if([1-248:s16:432781[w:GD61001]] == 4) { clear_object(); } else { redraw_object(); } </pre>			
オブジェクト(名称)	数値入力 (一次電圧(相電圧)) (表示プロジェクトスクリプト)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN16	データ形式	符号付き BIN16
<pre> if([1-248:s16:432781[w:GD61001]] == 4) { redraw_object(); } else { clear_object(); } </pre>			

ベース画面 30023

オブジェクト(名称)	スイッチ(レベル超過回数モニタ乗率設定 1_スイッチ)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	デバイス書込み時
//レベル超過回数モニタ乗率設定値を格納 [w:GD61063] = [1-248:s16:432914[w:GD61001]]; //該当のチャンネル番号を格納 [w:GD61064] = 1;			
オブジェクト(名称)	スイッチ(レベル超過回数モニタ乗率設定 2_スイッチ)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN16	データ形式	デバイス書込み時
//レベル超過回数モニタ乗率設定値を格納 [w:GD61063] = [1-248:s16:432915[w:GD61001]]; //該当のチャンネル番号を格納 [w:GD61064] = 2;			

ベース画面 30024

オブジェクト(名称)	スイッチ(レベル超過回数モニタ乗率設定 3_スイッチ)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	デバイス書込み時
//レベル超過回数モニタ乗率設定値を格納 [w:GD61063] = [1-248:s16:432916[w:GD61001]]; //該当のチャンネル番号を格納 [w:GD61064] = 3;			
オブジェクト(名称)	スイッチ(レベル超過回数モニタ乗率設定 4_スイッチ)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN16	データ形式	デバイス書込み時
//レベル超過回数モニタ乗率設定値を格納 [w:GD61063] = [1-248:s16:432917[w:GD61001]]; //該当のチャンネル番号を格納 [w:GD61064] = 4;			

ウィンドウ画面 30003

オブジェクト(名称)	数値表示(変更_年)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	立上り GB40
//時計データより本日の年月を取得 [w:TMP950] = [w:GS650] & 0xF000; //設定用時計データより年の下 2 桁の 10 の位を取得 [w:TMP960] = [w:TMP950] >> 12; //桁合せ [w:TMP968] = [w:TMP960] * 10; //BCD->BIN [w:TMP951] = [w:GS650] & 0x0F00; //設定用時計データより年の下 2 桁の 1 の位を取得 [w:TMP961] = [w:TMP951] >> 8; //BCD->BIN [w:TMP973] = 2000 + [w:TMP968] + [w:TMP961]; //TMP973 に年を BIN でセット [w:GD63990] = [w:TMP973]; //年をセット [w:TMP952] = [w:GS650] & 0x00F0; //設定用時計データより月の 10 の位を取得 [w:TMP962] = [w:TMP952] >> 4; //桁合せ [w:TMP969] = [w:TMP962] * 10; //BCD->BIN [w:TMP953] = [w:GS650] & 0x000F; //設定用時計データより月の 1 の位を取得 [w:TMP974] = [w:TMP969] + [w:TMP953]; //TMP974 に月を BIN でセット [w:GD63991] = [w:TMP974]; //月をセット [w:TMP954] = [w:GS651] & 0xF000; //設定用時計データより日の下 2 桁の 10 の位を取得 [w:TMP963] = [w:TMP954] >> 12; //桁合せ			

```

[w:TMP970] = [w:TMP963] * 10;//BCD->BIN
[w:TMP955] = [w:GS651] & 0x0F00;//設定用時計データより日の下 2 桁の 1 の位を取得
[w:TMP964] = [w:TMP955] >> 8;//BCD->BIN
[w:TMP975] = [w:TMP970] + [w:TMP964]; //TMP975 に日を BIN でセット
[w:GD63992] = [w:TMP975]; //日をセット

[w:TMP956] = [w:GS651] & 0x00F0;//設定用時計データより時の 10 の位を取得
[w:TMP965] = [w:TMP956] >> 4;//桁合せ
[w:TMP971] = [w:TMP965] * 10;//BCD->BIN
[w:TMP957] = [w:GS651] & 0x000F;//設定用時計データより時の 1 の位を取得
[w:TMP976] = [w:TMP971] + [w:TMP957]; //TMP976 に時を BIN でセット
[w:GD63993] = [w:TMP976]; //時をセット

[w:TMP958] = [w:GS652] & 0xF000;//設定用時計データより分の下 2 桁の 10 の位を取得
[w:TMP966] = [w:TMP958] >> 12;//桁合せ
[w:TMP972] = [w:TMP966] * 10;//BCD->BIN
[w:TMP959] = [w:GS652] & 0x0F00;//設定用時計データより分の下 2 桁の 1 の位を取得
[w:TMP967] = [w:TMP959] >> 8;//BCD->BIN
[w:TMP977] = [w:TMP972] + [w:TMP967]; //TMP977 に分を BIN でセット
[w:GD63994] = [w:TMP977]; //分をセット

[w:TMP993] = [w:GS652] & 0x00F0;//設定用時計データより秒の 10 の位を取得
[w:TMP995] = [w:TMP993] >> 4;//桁合せ
[w:TMP996] = [w:TMP995] * 10;//BCD->BIN
[w:TMP994] = [w:GS652] & 0x000F;//設定用時計データより秒の 1 の位を取得
[w:TMP978] = [w:TMP996] + [w:TMP994]; //TMP978 に秒を BIN でセット
[w:GD63995] = [w:TMP978]; //秒をセット

```

オブジェクト(名称)	数値表示(変更_月)		
スクリプトユーザ ID	2		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時

// BIN -> BCD 変換

```

[w:TMP979] = [w:GD63990] - 2000; // 年の下 2 桁

[w:TMP980] = (([w:TMP979] / 10) << 4) + ([w:TMP979] % 10); // 年 BIN -> BCD
[w:TMP981] = (([w:GD63991] / 10) << 4) + ([w:GD63991] % 10); // 月 BIN -> BCD
[w:TMP982] = (([w:GD63992] / 10) << 4) + ([w:GD63992] % 10); // 日 BIN -> BCD
[w:TMP983] = (([w:GD63993] / 10) << 4) + ([w:GD63993] % 10); // 時 BIN -> BCD
[w:TMP984] = (([w:GD63994] / 10) << 4) + ([w:GD63994] % 10); // 分 BIN -> BCD
[w:TMP985] = (([w:GD63995] / 10) << 4) + ([w:GD63995] % 10); // 秒 BIN -> BCD

```

オブジェクト(名称)	数値表示(変更_日)		
スクリプトユーザ ID	3		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時

// 年月設定

```

[w:GS513] = ([w:TMP980] << 8) + [w:TMP981]; // 変更時刻デバイスに年月セット

```

オブジェクト(名称)	数値表示(変更_時)		
スクリプトユーザ ID	4		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時

// 日時設定

```

[w:GS514] = ([w:TMP982] << 8) + [w:TMP983]; // 変更時刻デバイスに日時セット

```

オブジェクト(名称)	数値表示(変更_分)		
スクリプトユーザ ID	5		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
// 分秒設定 [w:GS515] = ([w:TMP984] << 8) + [w:TMP985]; // 変更時刻デバイスに分秒セット			
オブジェクト(名称)	数値表示(変更_秒)		
スクリプトユーザ ID	6		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
// 曜日設定 [w:TMP986] = [w:GD63990]; //年(BIN) [w:TMP987] = [w:GD63991]; //月(BIN) [w:TMP988] = [w:GD63992]; //日(BIN) if((([w:TMP987] == 1) ([w:TMP987] == 2)) { //1・2 月の場合のみ前年の 13・14 月として計算するための補正処理 [w:TMP986] = [w:TMP986] - 1; //年から 1 を減算 [w:TMP987] = [w:TMP987] + 12; //月に 12 を加算 } [w:TMP989] = [w:TMP986]/4; //ツェラーの公式に必要な項を作成 [w:TMP990] = [w:TMP986]/100; //ツェラーの公式に必要な項を作成 [w:TMP991] = [w:TMP986]/400; //ツェラーの公式に必要な項を作成 [w:TMP992] = (13*[w:TMP987]+8)/5; //ツェラーの公式に必要な項を作成 //ツェラーの公式で曜日算出して変更時刻デバイスに曜日をセット [w:GS516] = ([w:TMP986]+[w:TMP989]-[w:TMP990]+[w:TMP991]+[w:TMP992]+[w:TMP988])%7;			

ウィンドウ画面 30015

オブジェクト(名称)	スイッチ (OK)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB61020
//設定回路値によりレジスタアドレスを変更する if([w:GD61000] == 1) { [1-248:s16:400513] = [w:GD61063]; //回路 1 の場合 } else { [1-248:s16:432781[u16:GD61001]] = [w:GD61063]; //回路 1 以外の場合 } 			

ウィンドウ画面 30016

オブジェクト(名称)	スイッチ (OK)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB61020
//設定回路値によりレジスタアドレスを変更する if([w:GD61000] == 1) { [1-248:s16:400532] = [w:GD61063]; //回路 1 の場合 } else { 			

```
[1-248:s16:432788[u16:GD61001]] = [w:GD61063]; //回路 1 以外の場合  
}
```

ウィンドウ画面 30018

オブジェクト(名称)	スイッチ (OK)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB61020
<pre>// 該当 CH 番号により設定するレジスタアドレスを変更する switch([w:GD61064]) { case 1: // CH1 [1-248:s16:432914[u16:GD61001]] = [w:GD61063]; break; case 2: // CH2 [1-248:s16:432915[u16:GD61001]] = [w:GD61063]; break; case 3: // CH3 [1-248:s16:432916[u16:GD61001]] = [w:GD61063]; break; case 4: // CH4 [1-248:s16:432917[u16:GD61001]] = [w:GD61063]; break; }</pre>			

6. GOT 上での MODBUS®アドレスの指定方法について

GOT (GT Designer3) 上で使用するデバイスは、使用する MODBUS®機器のアドレスマップに応じて GT Designer3 上でのデバイス番号に置き換えて使用してください。MODBUS®アドレスの詳細については、「GOT2000 シリーズ接続マニュアル(マイコン・MODBUS/フィールドバス・周辺機器接続編)」を参照してください。

6.1 アドレスの置き換え方法

保持レジスタのアドレス「1234H」をモニタしたい場合、保持レジスタは GT Designer3 上ではアドレス「4*****」となります。GT Designer3 ではアドレス番号は 10 進数を使用しますので、「1234H」を 10 進数に変換して「04660」となります。また GT Designer3 上のアドレス番号は、保持レジスタの場合「1」からとなりますので、上記アドレスに「+1」したアドレスとなります。よって保持レジスタのアドレス「1234H」は、GT Designer3 上では「404661」となります。

6.2 計測ユニットの計測値をモニタ表示する例

実際の計測値は、モニタしたデータ値に乗率($\times 10^n$)を乗じた値となります。そのため、スクリプトにてモニタしたデータ値に乗率を乗じた値を表示する必要があります。以下に、回路 1 の線間電圧現在値(平均)の計測値を表示する場合の例を示します。

6.2.1 線間電圧現在値(平均)のデバイス設定

ここでは、線間電圧現在値(平均)をモニタ表示するためのデバイス設定の例を示します。

計測ユニットの MODBUS®レジスタアドレスについては、計測ユニットの MODBUS I/F 仕様書を参照してください。

数値表示

基本設定 詳細設定

デバイス(D): 1-248 400782 (1)

データ形式(A): 符号付きBIN16 (2)

種類(Y): ☒ 数値表示 ☐ 数値入力

フォント(I): アウトラインゴシック

数値サイズ(Z): 16 (ドット)

表示形式(E): 実数 (3)

整数部桁数(G): 8 ☐ 0を付加する(O) ☐ +を表示する(W) ☐ 符号を整数部桁数に含める(I)

小数部桁数(C): 0 ☒ 小数桁数自動調整(J)

表示範囲: -99999999 ~ 99999999

☐ 画面に表示する数値をアスタリスクで表示する(K)

書式文字列(Q):

プレビュー

数値(Y): 1234567

名称:

OK キャンセル

(1) デバイス (D) : の設定

デバイスの設定では、MODBUS®レジスタアドレスの設定およびネットワーク設定を行います

(a) MODBUS®レジスタアドレスの設定

線間電圧現在値 (平均) の MODBUS®レジスタアドレスは、「781 (10 進)」のため、GT Designer3 上では「400782」となります。

(b) ネットワーク設定

モニタ対象計測ユニットの局番を設定します。

サンプル画面では、間接指定を使用しモニタ対象計測ユニットの局番を GD10 の値にて設定しているため、ネットワーク設定には、「ネットワーク No.」⇒1、「局番」⇒248 を設定します。

また、決まった局番の計測ユニットを直接指定したい場合は、「局番」にモニタ対象計測ユニットの局番を指定してください。

(2) データ形式の設定

線間電圧現在値 (平均) のバイト数は、2 バイトのためデータ形式に「符号付 BIN16」を設定します。

電力量など 4 バイトの MODBUS®レジスタアドレスでは、データ形式に「符号付き BIN32」を設定してください。

バイト数については、計測ユニットの MODBUS I/F 仕様書を参照してください。

(3) 表示形式の設定

項目	設定値	備考
表示形式	実数	小数を表示するため実数を設定します。
表示桁数	8	符号、乗率、小数点を加味して設定します。
小数点桁数	0	スクリプトにて設定をしているため 0 を設定しています。
小数桁数自動調整	チェック	スクリプトにて設定をしているため小数桁数自動調整を設定しています。

6.2.2 線間電圧現在値(平均)のスク립ト設定

モニタしたデータ値に乗率($\times 10^n$)を乗じた値を表示させるため、スク립トにてモニタしたデータ値に乗率($\times 10^n$)を乗じます。以下にスク립トの例を示します。

モニタ項目により、乗率のレジスタアドレスおよび乗率の範囲を変更してください。

データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB40
<pre>//小数点の位置を算出しています。 switch([1-248:s16:400756]) { case -3: my.decimal_point = 3; break; case -2: my.decimal_point = 2; break; case -1: my.decimal_point = 1; break; case 0: my.decimal_point = 0; break; case 1: my.decimal_point = 0; \$V = \$\$ *10; break; } redraw_object();</pre>			

電圧 乗率
のレジスタアドレス

乗率の値により、
小数桁数の設定、データ演算を行う。
乗率=-3 ⇒ 小数桁数=3
乗率=1 ⇒ 小数桁数=0、乗率= $\times 10$

7. グラフ・ロギングについて

電力量グラフ・総合電流グラフは、ロギング機能を使用して電力量・総合電流の計測値をロギングし、ヒストリカルトレンドグラフ表示しています。サンプル画面では、局番1の回路1の計測ユニットの電力量・総合電流をロギングし、グラフ表示しています。ロギング機能・ヒストリカルトレンドグラフの詳細については、「GT Designer3 (GOT2000) 画面設計マニュアル」を参照してください。

7.1 ロギング詳細

サンプル画面にてロギング設定を行っている詳細を記載します。

ロギング ID	ロギング内容	ロギング詳細	ロギング期間
30001	1 時間電力量ロギング	毎 00 分 (1 時間ごと) に計測ユニットの電力量をロギングしています。 また、毎 00 時 (1 日ごと) にロギングしたデータを CSV ファイル形式で SD カードに保存しています。	62 日間 (24 時間 × 62 ファイル)
30002	1 日間電力量ロギング	毎 00 時 (1 日ごと) に計測ユニットの電力量をロギングしています。 また、01 日 (1 ヶ月ごと) にロギングしたデータを CSV ファイル形式で SD カードに保存しています。	24 ヶ月 (1 日 × 24 ファイル)
30003	1 ヶ月間電力量ロギング	01 日 (1 ヶ月ごと) に計測ユニットの電力量をロギングしています。 また、1 月 1 日 (1 年ごと) にロギングしたデータを CSV ファイル形式で SD カードに保存しています。	3 年間 (12 ヶ月 × 3 ファイル)
30004	1 分総合電流ロギング	毎 00 秒 (1 分ごと) に計測ユニットの総合電流をロギングしています。	31 分 (31 件 × 1 ファイル)
30005	10 分総合電流ロギング	毎 00 分 (10 分ごと) に計測ユニットの総合電流をロギングしています。	310 分 (31 件 × 1 ファイル)
30006	1 時間総合電流ロギング	毎 00 分 (1 時間ごと) に計測ユニットの総合電流をロギングしています。	31 時間 (31 件 × 1 ファイル)
30007	1 日間総合電流ロギング	毎 00 時 (1 日ごと) に計測ユニットの総合電流をロギングしています。	31 日 (31 件 × 1 ファイル)

* ロギングしている電力量・総合電流は、乗率を加味していないデータです。

7.1.1 電力量ロギングデータファイルの仕様

電力量のロギングデータを、SD カードの「Package1¥LOG3000*」(*はロギング ID による)フォルダ内に CSV ファイル形式で保存しています。

項 目	説 明
ファイル名	“LOG30001_” + yyyymmdd + “_” + hhmmss + “_” + **** + “.csv” LOG30001_ : ロギング ID yyymmdd : 年月日 hhmmss : 時分秒 **** : ファイル番号 (ファイルが作成された順番) 例) Day_20150701_010000_0001.csv 2015 年 7 月 1 日 0 時～7 月 2 日 0 時の 1 時間電力量ロギング CSV ファイル
ファイル内容	ロギング周期ごとの電力量データを記録
1 行目	「:GT2K_LOG」という文字列を固定出力します。
2 行目	ロギング ID を出力します。
3 行目	ロギング名称を出力します。
4 行目	ファイル名の最後に付くファイル番号を出力します。
5 行目	デバイス数を出力します。
6 行目	ロギングの件数を出力します。
7 行目	日時の並び順を出力します。
8 行目	グリニッジ標準時との差を出力します。
9 行目	時刻データの時刻情報を出力します。
10 行目	デバイスコメントを出力します。
11 行目	デバイス形式 (BIN32 : 符号付 BIN32 または符号なし BIN32) を出力します。
12 行目	表示形式 (DEC : 符号付き 10 進) を出力します。
13 行目	デバイスのサイズを出力します。(2:ワードデバイス (32 ビット))
14 行目	電力量を収集した時刻、収集した電力量を出力します。
:	
:	
n 行目	電力量を収集した時刻、収集した電力量を出力します。

＜出力例＞

2015 年 07 月 01 日のロギング ID30001 : 1 時間電力量ロギングの CSV ファイル例

ファイル名 : LOG30001_20150701_010000_0001. CSV

:GT2K_LOG, 0
:LOGGING_ID, 30001
:LOGGING_NAME, "ロギング 1"
:SERIAL_ID, 1
:DEVICE_NUM, 1
:RECORD_NUM, 23
:DATE_ORDER, YYYY/MM/DD hh:mm:ss
:LOCAL_TIME, GMT 00:00
:TIME_INF_ORDER, L
:DEV_COMMENT,
:DEV_TYPE, BIN32
:DISP_TYPE, DEC
:DEV_SIZE, 2
2015/07/01 01:00:00, 166232
2015/07/01 02:00:00, 166252
2015/07/01 03:00:00,
2015/07/01 04:00:00, 166286
2015/07/01 06:00:00, 166301
.
.
.
2015/07/01 23:00:00, 168032
2015/07/02 00:00:00, 168062

- *1 電力量のデータは、乗率を乗算していない値です。
- *2 2015/07/01 01:00:00 のデータは、2015/07/01 01:00:00 にロギングした電力量 (指示値) です。
2015/07/01 01:00:00～2015/07/01 02:00:00 の間に使用した電力量を求めたい場合は、
ロギングされた電力量の差によって求めてください。
また、電力量 (指示値) は、999999 (9 の 6 桁) まで積算をすると 0 に戻ります。
- *3 通信エラー等で計測ユニットから電力量を収集できなかった場合、電力量のデータはブランクになります。
- *4 GOT が停電期間中のロギングデータはありません。
- *5 ファイルを保存するタイミングで GOT が停電していた場合のファイルを保存するタイミングは以下のようになります。

ロギング内容	停電時間	ファイルを保存するタイミング
1 時間電力量ロギング	00 時 00 分 00 秒	ロギング件数が 24 件に達した時
1 日間電力量ロギング	01 日 00 時 00 分 00 秒	ロギング件数が 31 件に達した時
1 ヶ月間電力量ロギング	01 月 01 日 00 時 00 分 00 秒	ロギング件数が 12 件に達した時

7.2 ロギング項目を追加する例

サンプル画面では、局番 1 の回路 1 の計測ユニットの電力量および総合電流のみロギングしています。

局番 1 の回路 1 以外の計測ユニットのデータや、電力量・総合電流以外の項目をロギングしたい場合に以下の例を参考にロギング項目を追加してください。

例：局番 2 の回路 1 の計測ユニットの総合電流を追加

(1) ブロック数を 1→2 に変更

(2) No. 2 に以下の設定を行う。

項目	設定値	設定内容
デバイス	1-2 400773	追加するロギング項目のデバイスを設定してください。 デバイスは、計測ユニットの MODBUS I/F 仕様書および 6.2 計測ユニットの計測値をモニタ表示する例を参照してください。
デバイス形式	符号付き BIN16	デバイスのバイト数により変更してください。 バイト数は、計測ユニットの MODBUS I/F 仕様書を参照してください。 デバイスのバイト数が 2 の場合：符号付き BIN16 デバイスのバイト数が 4 の場合：符号付き BIN32
点数	1	ロギング項目点数を設定します。 連続するデバイス（レジスタアドレス）をロギングする場合に設定をします。 例：1 相電流現在値（デバイス：1-1 400769）～3 相電流現在値（デバイス：1-1 400771）まで 3 点をロギングする場合は、デバイスに 1 相電流現在値のデバイス（1-1 400769）を設定し、点数に 3 を設定します。

(1) ロギング項目数を設定

ブロック数(B): 2

ファイル出力属性(E) ☒ 文字コード(H): ASCII 格納順: 下位→上位

No.	デバイス	デバイス形式	点数	最大文字数 (半角)	デバイスコメント	ファイル出力属性	
						表示形式	表示桁数
1	1-1 400773	符号付きBIN16	1	-		符号付き10進	6
2	1-2 400773	符号付きBIN16	1	-		符号付き10進	6

(2) 追加項目のデバイスを設定

7.3 ヒストリカルトレンドグラフに表示する過去データを増やす例

ヒストリカルトレンドグラフでは、ロギングでバッファリングエリアやメモリカードに収集、蓄積したデータが、グラフとして表示されます。ロギング設定(ファイル数・ログ件数)を変更することにより、過去のデータを増やすことができます。以下の例を参考にロギング設定を変更してください。

例：1分総合電流ロギングを1440件(1日間)ロギングする例

ロギング設定の保存ファイル数および1ファイル内ログ件数を変更することによりロギング期間を増やすことができます。以下の例では、1ファイルに60件(1時間分)保存し、24ファイル(24時間)保存をすることで、1440件(1日間)のロギングをしています。

- (1) 保存ファイル数 : 24
- (2) 1ファイル内ログ件数 : 60

The screenshot shows the 'Logging' (ロギング) dialog box with the 'File Save' (ファイル保存) tab selected. The following settings are visible:

- ロギングID(I): 30004
- ロギング名称(N): ロギング4
- ロギング方式(M): ☒ ファイル保存モード
- 保存ファイル数(L): 24 (highlighted with a red box and labeled (1))
- 1ファイル内ログ件数(G): 60 (件) (highlighted with a red box and labeled (2))
- ファイル終了トリガ(E): ☐
- ロギングトリガ: トリガ種別: 立上り, デバイス: GB61012, トリガ設定(R)...
- ☒ ロギング処理中通知デバイス(Q): GB61013
- ☐ ロギングカウントデバイス(C):
- ☐ ロギングデータ欠測検出機能を使用する
- バッファリング: ☒ GOT本体の内蔵メモリで停電保持する(バッテリーが必要となります)(W)
- ログ格納件数(S): 31 (件) --> 動作メモリ(RAM)を1KB使用します。+ SRAMユーザ領域を0.6KB使用します。

Buttons at the bottom: OK, キャンセル

7.4 追加したロギング項目をヒストリカルトレンドグラフに表示する例

追加したロギング項目をヒストリカルトレンドグラフに表示するための例を記載します。

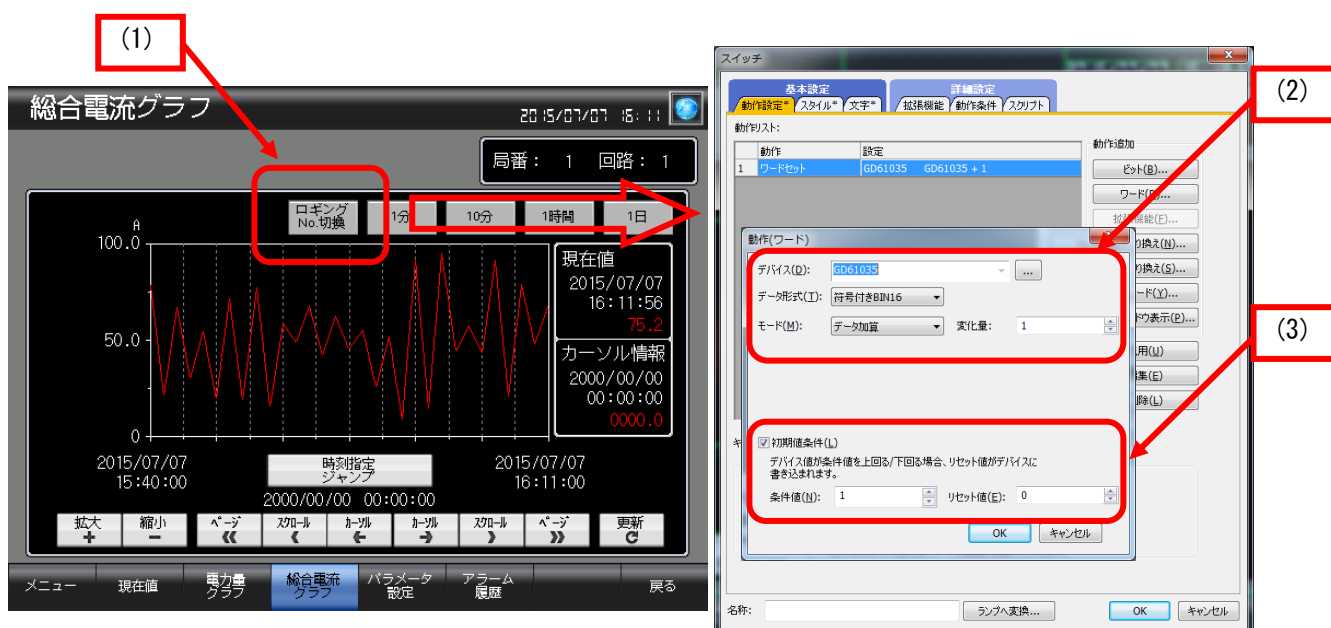
- ・ロギング項目を切り換えて表示
- ・グラフ上に線を追加して表示

7.4.1 ロギング項目を切り換えて表示する例

オフセットデバイス(総合電流グラフでは、「GD61035」が設定済み)の値によってヒストリカルトレンドグラフに表示するロギング項目を切り換えて表示します。ただし、現在値の値および上限値の範囲(表示)は「GD61035」の値を変更しただけでは切り替わりません。

例：総合電流グラフにロギング No. 切換(オフセットデバイス)スイッチを追加

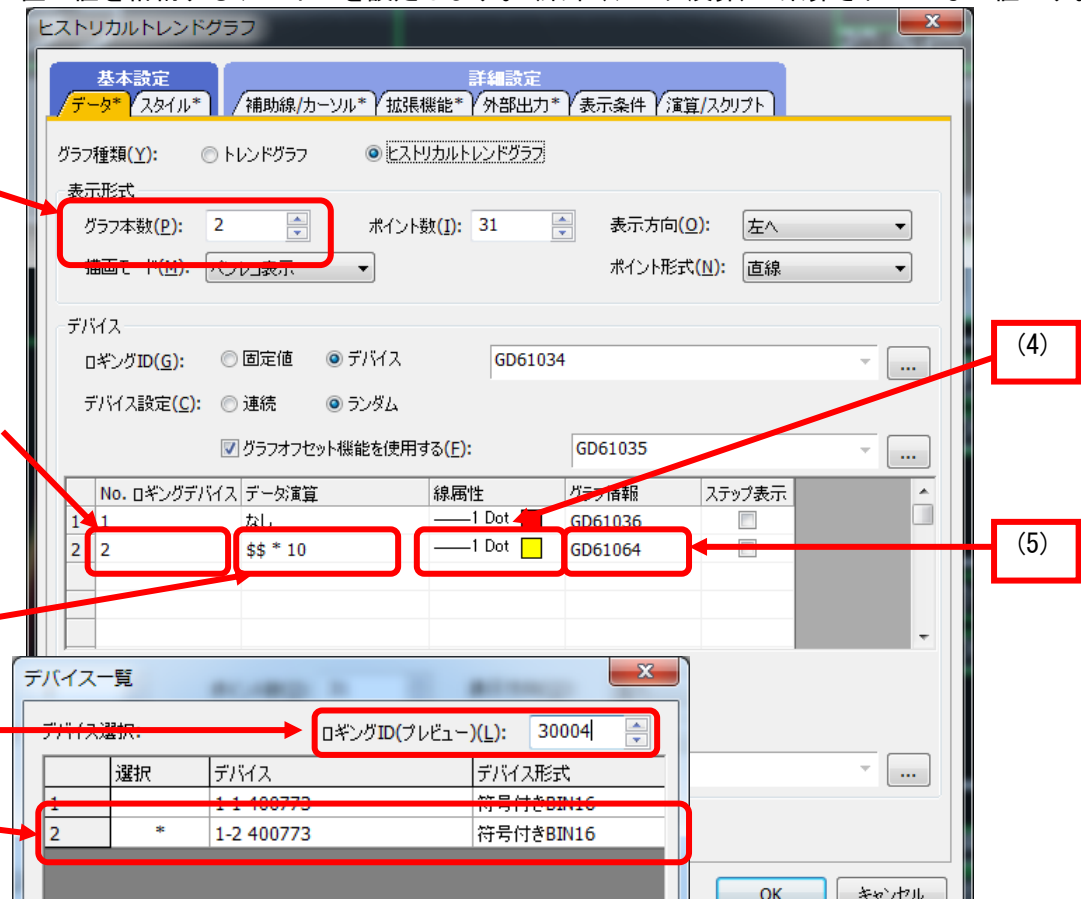
- (1) オフセットデバイスを加算するスイッチを画面に追加。
- (2) スwitchにオフセットデバイス(GD61035)に+1を加算。
- (3) オフセットにより、デバイスが範囲外にならないように初期値条件を設定。



7.4.2 グラフ上に線を追加して表示する例

ヒストリカルトレンドグラフのグラフ本数を増やすことで、追加したロギング項目を表示させることができます。同一時刻のロギングデータを1グラフ上で比較表示できます。

- (1) グラフ上に表示するグラフ本数を設定：2
- (2) [デバイス一覧] ダイアログで、ロギング No. を選択します。
 - (2)-1 ロギング ID(プレビュー)にて、ロギング項目を追加したロギング ID を設定します。
 - (2)-2 追加表示するロギング項目を選択します。
- (3) 表示するロギング項目の乗率が異なる場合にデータ演算を設定します。
以下の例では No. 1 の乗率=1、No. 2 の乗率=10
- (4) グラフに表示する線の色を設定します。
- (5) カーソル位置の値を格納するデバイスを設定します。(乗率(データ演算)が乗算されていない値です。)



例：グラフ上に線を追加

